



取扱説明書

再生ソフト Voice Player VPS179

このたびは「再生ソフト Voice Player VPS179」をご使用いただき、まことにありがとうございます。
本書はアプリケーション Ver.1.0.*に対応しています。
お使いになる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。

もくじ

はじめに	2
本ソフトの概要	2
動作環境	2
使用上の注意	3
その他	3
 インストール	 4
インストールの前に	4
インストール	4
アンインストール	6
 ソフトの起動・終了	 7
ヘルプ	8
 操作のしかた	 9
再生ソフト VPS179 の基本画面	9
ツールボタンについて	10
フォルダの操作	11
ファイルのバックアップ保存	14
SD カード取り出し時の注意	15
ファイルの操作	16
ファイル形式をそのまま保存	22
WAVE 形式に変換して保存	24
再生	26
設定	31
USB データ転送	35
 補足資料	 39
ディスプレイの確認	39
日付・時刻の確認	39
 故障とお考えになる前に	 41

はじめに

本ソフトの概要

「再生ソフト Voice Player VPS179」では、本体装置「VR-D179」または「VR-D179A」および、「VR-D175」または「VR-D175A」で録音した音声ファイルを、パソコンに転送して次のような操作を行うことができます。

- ・「再生ソフト Voice Player VPS179」：
以下、本書では「VPS179」または「本ソフト」と記載します。
- ・本書記載の VR-D179 シリーズは、VR-D179/VR-D179A の各製品が対象となります。
- ・本書記載の VR-D175 シリーズは、VR-D175/VR-D175A の各製品が対象となります。
- ・本書記載の VR-D170 シリーズは、VR-D170/VR-D170A/VR-D170A II の各製品が対象となります。

● 音声ファイルの転送

本ソフトをインストールしたパソコンに、VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズ / VR-D170 シリーズの本体装置で録音した音声ファイルをバックアップ（転送）できます。バックアップ方法は、USB 経由と SD カード経由があり、本体装置により使用できるバックアップ方法を以下の表で示します。

本体装置	USB 経由	SD カード経由
VR-D179 シリーズ	対応	対応
VR-D175 シリーズ	対応	対応
VR-D170 シリーズ	非対応	対応

● ファイルの再生

ファイルを選択し再生する方法として、以下3つの再生モードがあります。

- ① 1つのファイルだけを再生（1回再生）
- ② 1つのファイルを繰り返し再生（リピート再生）
- ③ 順番に再生（連続再生）

再生速度は、「遅い（0.75 倍）／標準／早い（1.5 倍）」の3種類が選択できます。

リピート再生の場合、ファイル内で繰り返す場所を指定することができます。

● 重要マーク・インデックス

音声ファイルに重要マークやインデックスを付けることができます。

● メモを付ける

全角 64 文字、半角 128 文字のメモを付けることができます。

● 検索

ファイル名または、メモの内容でファイルを検索することができます。

動作環境

● 使用できるパソコン

ご使用いただくパソコンは以下の仕様のものを推奨します。

OS ※	Windows 11/10 （注 1）
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨する環境以上
ハードディスク	100MB 以上の空き容量
ディスプレイ	解像度 1024 × 768 ドット以上、画面の色 High Color(16bit) 以上
サウンド	音声の再生機能があること
USB	USB2.0 コネクタを装備していること

※ 日本語版、32bit/64bit 版対応

（注 1）Windows 11/10 の S モードおよび ARM 版 Windows 11/10 は対象外です。

● 商品名は各社の商標または登録商標です。

● パソコンの設定について

本ソフトをインストールするパソコンにおいて、ディスプレイのサイズや解像度は推奨値で運用してください。また、カレンダーの種類は西暦で運用してください。詳細な確認手順については、「補足資料」（39 ページ）を参照してください。

STOP お願い

- 本ソフトでは、当社の従来製品「VR-D170 シリーズ」を USB 経由でパソコンに接続しての使用はできません。VR-D170 シリーズをご使用になるときは、「VPS179」をご使用ください。
- 1 台のパソコンに 2 台以上の VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズの本体装置を USB 接続しないでください。
パソコンが不安定な動作をすることがあります。

免責事項について

お客様が本ソフトウェアを使用し、または運用した結果、直接的または間接的に生じる損害について、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

使用上の注意

● 音声ファイルの操作

本ソフト以外のツール（エクスプローラーなど）で、SD カードや保存用フォルダ内の音声ファイルの、削除・コピー・編集などの操作をしないでください。再生などの操作ができなくなる場合があります。

● 音声ファイルのバックアップ

VR-D179シリーズやVR-D175シリーズ/VR-D170シリーズの本体装置で保存した SD カードの音声ファイルを、本ソフトを使用してパソコン上にバックアップ保存をしてご使用いただくことをお勧めします。

バックアップは市販の USB ケーブルを使用して、本体装置または市販の SD カードリーダーから行います。

※ VR-D170 シリーズは、SD カードリーダー経由のみでバックアップできます。

● 起動中の動作

本ソフト起動時は、「ユーザー切り替え」の操作および「Windows のスリープモードや休止状態」の操作をしないでください。データが破損したり、パソコンの再起動が必要となる場合があります。

STOP お願い

- お使いのパソコンをスリープ状態にしないでください。お使いのパソコンのタスクバーを右クリックしたメニューより以下を実施してください。

【Windows 11 の場合】

「設定」→「システム」→「電源」における「画面とスリープ」の設定で「電源接続時に、次の時間が経過した後にデバイスをスリープ状態にする」の設定を、「なし」に設定してください。

【Windows 10 の場合】

「設定」→「システム」→「電源とスリープ」における「スリープ」の設定を、「なし」に設定してください。

● SD カードの音声ファイル

本ソフトを使用することで VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズ/VR-D170 シリーズの本体装置で保存した SD カードの音声ファイルを、市販の SD カードリーダー経由で直接再生することができます。

ただしインデックスを SD カードに書き込むことはできません。

● SD カードリーダーについて

市販の SD カードリーダーを使用する場合は、使用する SD カードに対応したカードリーダーをご使用ください。SDHC カードを使用する場合は、SDHC 対応のカードリーダーをご使用ください。

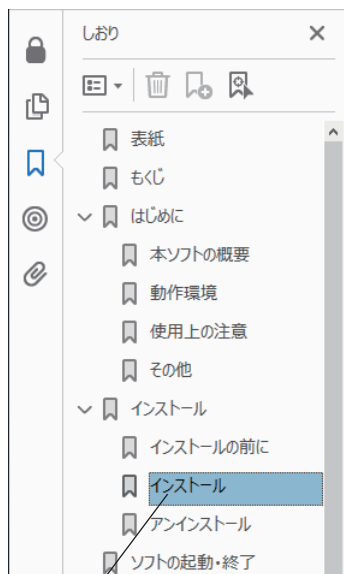
STOP お願い

- SD カードをカードリーダーから取り出すときは、事前に「ファイル」→「取り出し」をクリックするか、またはツールボタンの「[取り出し]」ボタンをクリックしてください。この操作をせずに取り出すと、データが壊れることがあります。詳しくは「SD カード取り出し時の注意」（15 ページ）を参照してください。
- SD カードを VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズ/VR-D170 シリーズの本体装置から取り出すときは、本体装置の取扱説明書「SD カードについて」を参照してください。

その他

● しおりについて

本取扱説明書の「しおり」の項目をクリックすると、該当項目の説明画面に移動します。



表示したい項目をクリックします。この例では、「インストール」を表示しようとしています。

インストール

インストールの前に

■ インストールできるユーザー

本ソフトをインストールするときは、管理者権限を持ったユーザー（たとえば Administrator）でログオンしてください。

■ インストールするパソコンの環境

本ソフトをインストールする前に、ご使用のパソコンが最新の状態であることを Windows Update により確認してください。

■ 本体装置との接続

本ソフトをインストールする前やインストール中に、VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズの本体装置を USB に接続しないでください。

■ VPS175 からのバージョンアップ

本ソフトをご使用になるパソコンに、「再生ソフト Voice Player VPS175」（以下、「VPS175」と記します）がインストールされている場合は、**VPS175 をアンインストールしたあとで**、本ソフトをインストールしてください。
また、VPS175 のデバイスドライバも合わせてアンインストールしてください。

【アンインストールプログラム】

- ・ Voice Player VPS175
- ・ Windows ドライバ/パッケージ - Takacom Co., Ltd (vps175_win7_amd64_usbser) Ports (11/21/2010 6.1.7601.17514)

【コントロールパネルからの抜粋】



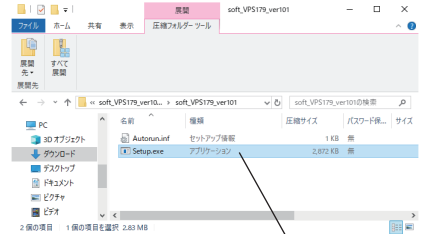
VPS175 とデバイスドライバ
をアンインストールします。

インストール

■ 本ソフトのセットアップ

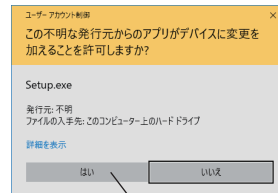
(Windows 10 の操作例)

- ① 他のソフトをすべて終了します。
- ② 当社ホームページからダウンロードしてデスクトップなどに解凍した「soft_VPS179」フォルダ内の「setup.exe」をダブルクリックします。



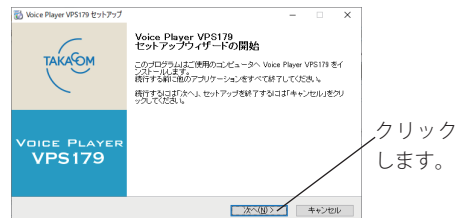
・【ユーザーアカウント制御】画面が表示されます。

- ③ [はい] ボタンをクリックします。



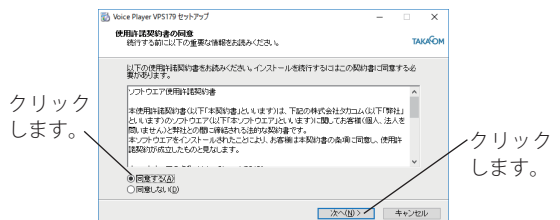
・【Voice Player VPS179 セットアップウィザードの開始】の画面が表示されます。

- ④ VPS179 セットアップウィザードの開始画面の[次へ] ボタンをクリックします。



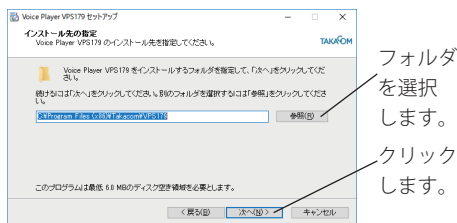
・【使用許諾契約書の同意】の画面が表示されます。

- ⑤ 「使用許諾契約書」をよくお読みいただいた上、同意するをクリックして [次へ] ボタンをクリックします。



・【インストール先の指定】の画面が表示されます。

- ⑥ インストール先のフォルダを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

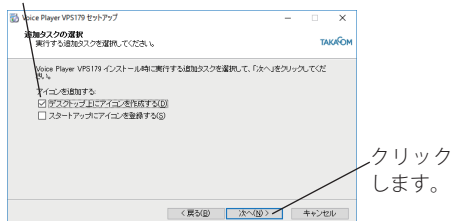


・【追加タスクの選択】の画面が表示されます。

STOP お願い

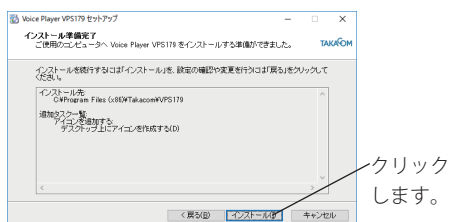
- ご使用のパソコンの OS が 64bit 仕様の場合、選択するフォルダは必ず「C:¥Program Files (x86)」配下のフォルダを選択してください。

- ⑦ ソフトのアイコンをデスクトップに作成する場合、本ソフトをスタートアップに登録する場合は、それぞれチェックして、[次へ] ボタンをクリックします。追加タスクを選択します。



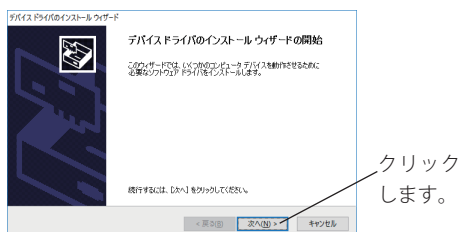
・【インストール準備完了】の画面が表示されます。

- ⑧ [インストール] ボタンをクリックします。



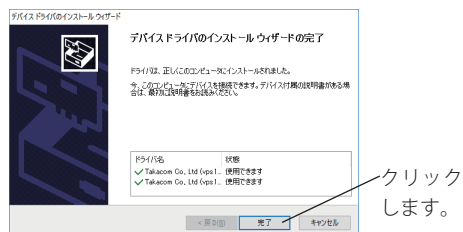
・【デバイスドライバのインストールウィザード】画面が表示されます。

- ⑨ デバイスドライバのインストールを開始します。[次へ] ボタンをクリックします。



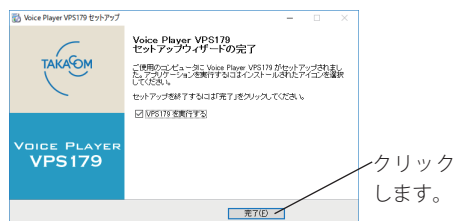
・【Windows セキュリティ】画面が表示されます。

- ⑩ デバイスドライバのインストールウィザードで [完了] ボタンをクリックします。



・【Voice Player VPS179 セットアップウィザードの完了】の画面が表示されます。

- ⑪ VPS179 セットアップウィザードで [完了] ボタンをクリックします。



ワンポイント

- デバイスドライバのインストール中に【Windows セキュリティ】の画面が表示された場合は、「株式会社タカコム」からのソフトウェアを常に信頼する」のチェックボックスにチェックを付けて、[インストール] ボタンをクリックしてください。(画面は Windows 10 の例)



チェックを付けます。 クリックします。

アンインストール

■ 本ソフトの削除

本ソフトを削除するときは、次の手順で行います。

- ① 本ソフトを終了します。
- ② デスクトップ画面におけるタスクバーから、[con] と入力して検索される「コントロールパネル」をクリックします。

③ 【表示方法：カテゴリーの場合】

「プログラムのアンインストール」を開きます。

【表示方法：大きいアイコンの場合】

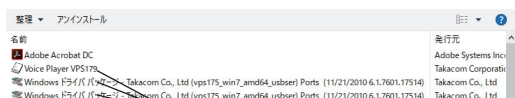
【表示方法：小さいアイコンの場合】

「プログラムと機能」を開きます。

- ④ 本ソフトとドライバパッケージを選んで [アンインストール] をクリックします。

- Voice Player VPS179
- Windows ドライバパッケージ - Takacom Co., Ltd(vps175_win7_amd64_usbser) Ports(11/21/2010 6.1.7601.17514)

※ ドライバパッケージは2つアンインストールします。



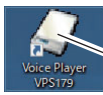
VPS179 とデバイスドライバ
をアンインストールします。

ソフトの起動・終了

■ ソフトの起動

● ショートカットアイコンがある場合

- ① デスクトップ画面上のVPS179のショートカットアイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします。

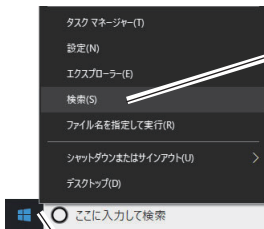
ショートカットアイコン

※【基本画面】が表示されます。

● ショートカットアイコンがない場合

(Windows 10 の操作例)

- ① デスクトップ画面において、スタートボタンを右クリックして表示されるメニュー画面から、「検索」をクリックします。



クリックします。

右クリックします。

・キーワード入力欄が表示されます。

- ② キーワード入力欄に「VPS179」を入力して検索された「Voice Player VPS179」をクリックします。



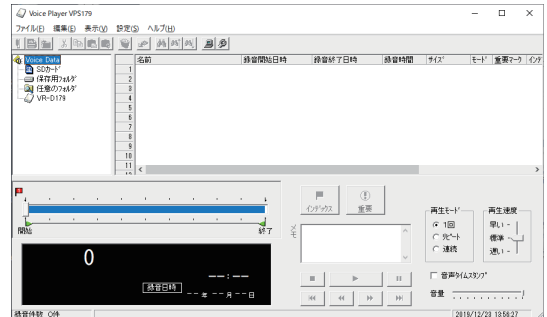
クリックします。

「VPS179」を入力します。

※【基本画面】が表示されます。



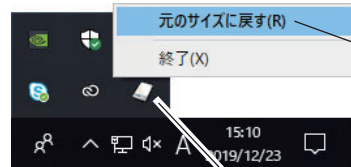
【基本画面】



● スタートアップに登録されている場合

本ソフトがスタートアップに登録されている場合は、タスクトレイに「VPS179」のアイコンを表示しています。

- ① アイコンを右クリックして「元のサイズに戻す」をクリックします。



クリックします。

右クリックします。

※【基本画面】が表示されます。

※アイコンをダブルクリックしても【基本画面】を表示することができます。

● システムセキュリティが設定されている場合

セキュリティパスワードが設定されている場合は、本ソフトを起動したときにパスワード入力画面を表示します。パスワードの設定方法は、「設定」(31ページ)を参照してください。

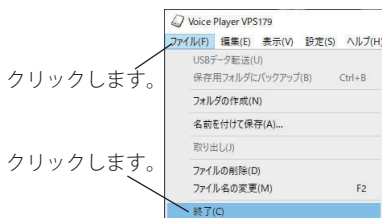
- ① パスワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。



※【基本画面】が表示されます。

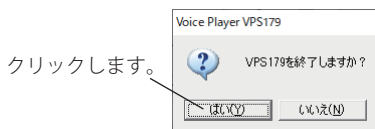
■ ソフトの終了

- ① メニューバーを「ファイル」→「終了」の順にクリックします。または、[×]（閉じる）ボタンをクリックします。



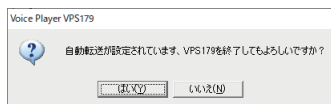
※アプリケーション終了の確認画面を表示します。

- ② [はい] ボタンをクリックします。



ワンポイント

- 自動転送を設定している場合、本ソフトを終了するとき、次の確認画面を表示します。



[はい] ボタンで本ソフトを終了します。

STOP お願い

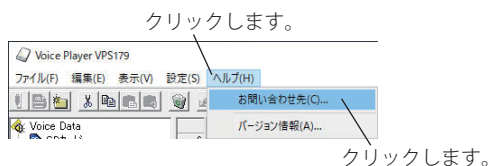
- 本ソフトと当社の旧ソフト「VPS170」を同時に起動しないでください。ファイルの保存や転送などの操作ができなくなる場合があります。

ヘルプ

■ お問い合わせ先の確認

当社ホームページの「お客様相談センター」窓口の連絡先をご案内します。

- ① メニューバーの「ヘルプ」→「お問い合わせ先」をクリックします。

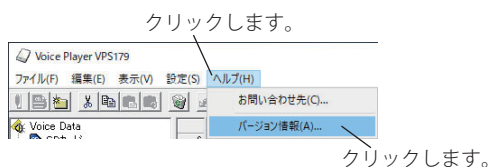


※当社ホームページが表示されます。

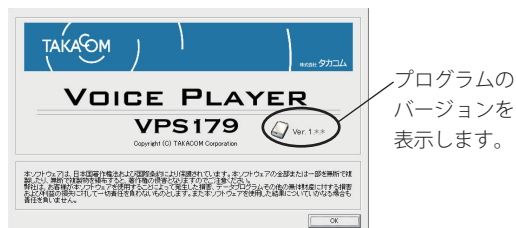
■ バージョンの確認

本ソフトのバージョン情報が確認できます。

- ① メニューバーの「ヘルプ」→「バージョン情報」をクリックします。



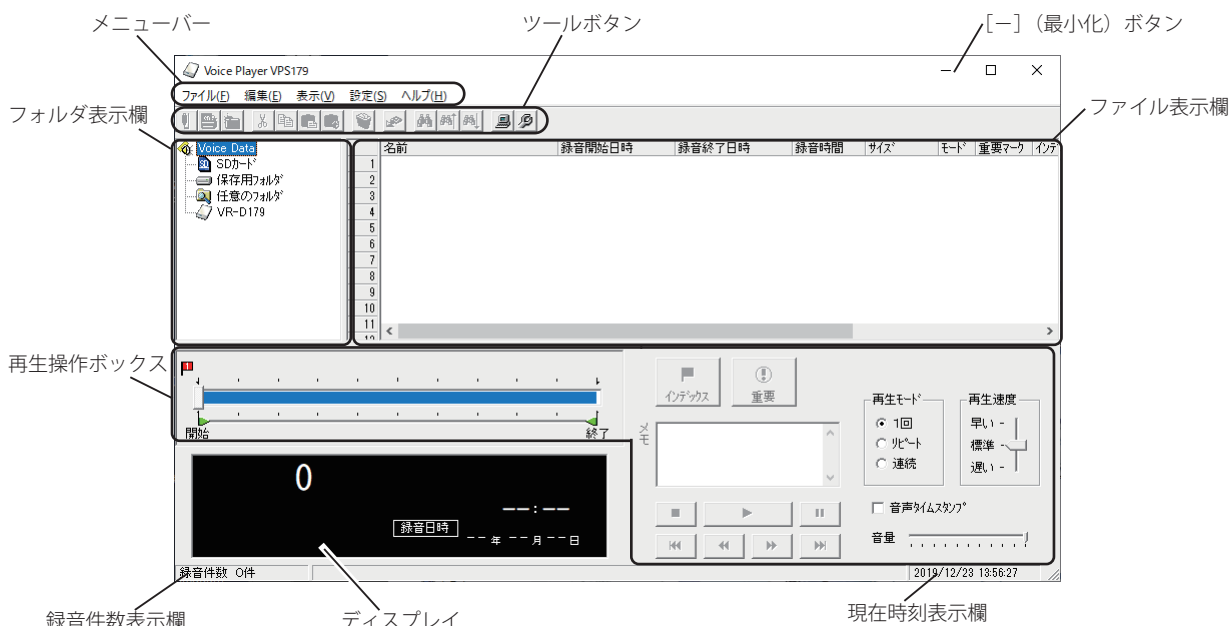
※バージョン情報が表示されます。



操作のしかた

再生ソフト VPS179 の基本画面

本ソフトを起動すると下の【基本画面】が表示されます。

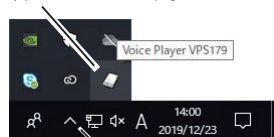


メニューバー	本ソフトで操作できる項目のメニューを表示します。クリックすると項目ごとの操作メニューを表示します。
ツールボタン	操作メニューの中で、使用頻度の高い操作をボタンで表示しています。ボタンをクリックするとワンタッチでその操作に移ります。
[-] (最小化) ボタン	基本画面をデスクトップ画面上から非表示にします。
フォルダ表示欄	音声ファイルを保存したりコピーする場合などに選択するフォルダなどを表示します。
ファイル表示欄	選択したフォルダに保存された音声ファイルを表示します。ファイルごとに録音日時などの情報を表示します。 再生するファイルはここで選択します。
再生操作ボックス	音声ファイルを再生するときの操作ボタンと、再生のオプション操作を行うためのボタンなどがあります。
ディスプレイ	選択された音声ファイルの録音日時などの情報を表示します。
録音件数表示欄	選択したフォルダに保存された音声ファイルの件数を表示します。
現在時刻表示欄	現在の年月日、時分秒を表示しています。

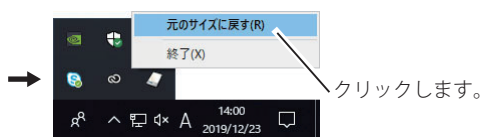
ワンポイント

- [-] (最小化) ボタンにより非表示とした基本画面は、以下の手順によりデスクトップ画面上に再表示できます。(Windows 10 の操作例)
- ① タスクバーの [h] をクリックして表示される VPS179 のアイコンを右クリックします。
- ② [元のサイズに戻す] をクリックします。

右クリックします。



クリックします。



クリックします。

ツールボタンについて

【基本画面】に表示しているツールボタンをクリックすると、メニューバーから項目を選択するのと同じ操作がワンタッチで行えます。各ボタンの操作内容を下表に示します。

ボタン表示	ボタン名	操 作 内 容
	USB データ転送	USB 接続した本体装置から、SD カードの音声ファイルをパソコンに転送します。
	保存用フォルダにバックアップ	SD カードの音声ファイルを一括して保存用フォルダにコピーします。
	フォルダの作成	保存用フォルダの下にフォルダを新規に作成します。
	切り取り	音声ファイルを切り取りします。
	コピー	音声ファイルをコピーします。
	貼り付け	音声ファイルを貼り付けます。
	Wave に変換して貼り付け	音声ファイルを WAVE 形式に変換して貼り付けます。
	ファイルの削除	音声ファイルを削除します。
	取り出し	SD カードを安全に取り出します。
	検索	ファイル名などを入力して音声ファイルを検索します。
	前を検索	現在位置より前のファイルを検索します。
	次を検索	現在位置より先のファイルを検索します。
	最新の情報に更新	SD カードや本体装置の情報を最新の情報に更新します。
	設定	本ソフトの動作条件の設定や装置名の登録をします。

フォルダの操作

■ フォルダの選択

● SD カードを選択する場合

SD カードに保存された音声ファイルのフォルダを選択します。

① SD カードをカードリーダーに入れます。

※ SD カードの内容が表示された場合は、[×] ボタンで画面を開けてください。

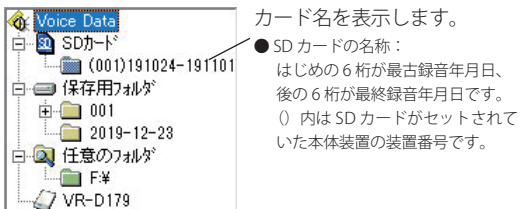
② メニューバーの「表示」→「最新の情報に更新」をクリックまたは、ツールボタンの「最新の情報に更新」ボタンをクリックします。

クリックします。

クリックします。



※ SD カードを認識して SD カードの名称を表示します。



SD カードの名称:
はじめの 6 桁が最古録音年月日、
後の 6 桁が最終録音年月日です。
() 内は SD カードがセットされて
いた本体装置の装置番号です。

※本ソフトで装置名を登録すると、装置番号が装置名で表示されます。

③ フォルダをクリックします。

※フォルダ内の音声ファイルを表示します。
クリックします。



フォルダ内の音声ファイルが表示されます。

ワンポイント

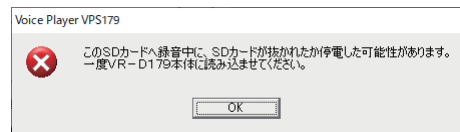
- SD カードのライトプロテクトがロックされているときは、次の表示となりファイルの表示ができません。



ロックを解除してご使用ください。

- 本体装置で録音中に、停電などにより電源断した状態の SD カードをカードリーダーで読み込ませた場合、以下のようなメッセージが出力され、カードの内容が認識されません。

例) VR-D179 シリーズで録音中に電源断した SD カードの場合



SD カードを本体装置に挿入して、本体装置の電源を再供給したあとで、再度カードリーダーに読み込ませてください。

- パソコンから SD カードに対しての書き込みが制限されている場合、SD カードデータが、「(000)000000-000000」と表示されます。



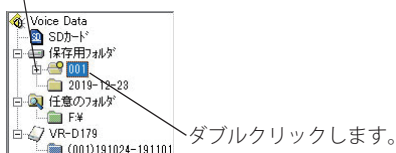
SD カードに対しての書き込みの制限を解除してください。

● 保存用フォルダを選択する場合

保存用フォルダは、ハードディスクの本ソフトをインストールしたフォルダ内に自動的に作成されます。

① 保存用フォルダ内の音声ファイルのフォルダを選択します。

※ 音声ファイルフォルダが表示されていない場合は、保存用フォルダをダブルクリックするか、展開 (田) をクリックします。



※ 保存用フォルダ内の音声ファイルフォルダを表示します。

② 目的のフォルダをクリックします。

※ フォルダ内の音声ファイルを表示します。
クリックします。



フォルダ内の音声ファイルが表示されます。

保存用フォルダの容量について

音声ファイルのバックアップ保存やファイルのコピー、または USB データ転送などによって、保存用フォルダのメモリ残量が少なくなると、次の警告画面を表示してデータの保存ができなくなります。



《メモリ残量の目安》

- ・ 保存用フォルダをハードディスクまたは 2GB 以上のリムーバブルディスクに設定した場合は、メモリ残量が 500MB 以下になるとデータ保存が中止されます。
- ・ 保存用フォルダを 2GB 未満のリムーバブルディスクに設定した場合は、メモリ残量が 50MB 以下になるとデータ保存が中止されます。

[OK] ボタンをクリックして、フォルダ内の不要な音声ファイルを削除するなどしてメモリの空き容量を増やしてください。

※ 保存用フォルダをハードディスクに設定した場合は、削除した音声ファイルは「ごみ箱」に入るだけで、ハードディスクからは削除されません。従って「ごみ箱」を空にしないとメモリの空き容量は増えません。「ごみ箱」を空にしてください。

ワンポイント

- 保存用フォルダの保管場所を変更することができます。メニューバーの「設定」→「設定」をクリックまたは、ツールボタンの「設定」をクリックします。詳細については、「設定 動作条件の設定 保存用フォルダ」(31 ページ) を参照してください。

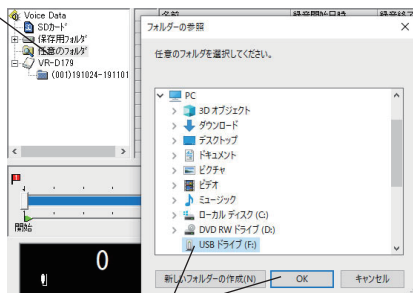
■ 任意のフォルダを選択する場合

音声ファイルを、ハードディスクの任意のフォルダや外部のリムーバブルディスクに保存することができます。フォルダは最大 10 個まで作成することができます。

① 任意のフォルダを選択します。

※フォルダの参照画面を表示します。

クリックします。【フォルダの参照】画面



クリックします。

② フォルダを選択して [OK] ボタンをクリックします。

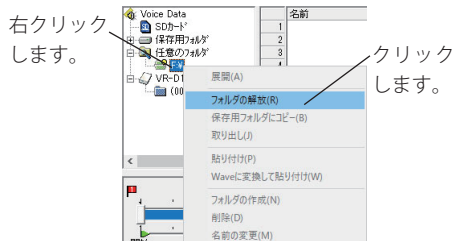
※選択したフォルダが任意のフォルダの下に表示されます。



選択された任意のフォルダ

◆ 選択したフォルダを取り消すときは

フォルダ名を右クリックして「フォルダの解放」をクリックします。



■ 保存用フォルダの作成・編集・削除

● 保存用フォルダを新規作成する

音声ファイルの保存用に新しいフォルダを作成することができます。

① 保存用フォルダを選択します。

② メニューバーの「ファイル」→「フォルダの作成」をクリックまたは、ツールボタンの「フォルダの作成」ボタンをクリックします。

※ 保存用フォルダの右クリックメニューでも「フォルダの作成」を選択できます。

クリックします。



クリックします。

③ 新しいフォルダが、保存用フォルダの下に作成されます。



新しいフォルダが作成されます。
フォルダ名は作成年月日になります。

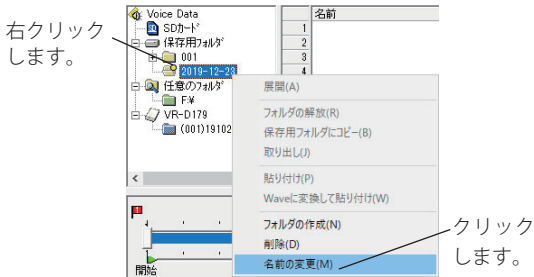
STOP お願い

- 音声ファイルの保存先（保存用フォルダ、任意のフォルダ）は、「C ドライブ」直下や「マイドキュメント（ドキュメント）」フォルダを指定しないでください。

● 保存用フォルダの名前を編集する

保存用フォルダの名前を変更することができます。

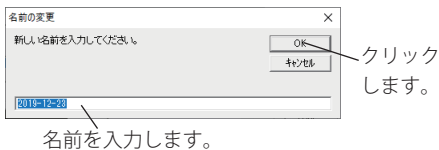
- ① 名前を変えたいフォルダを選択して、右クリックします。



※【名前の変更】画面が表示されます。

- ② キーボードから名前を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

※フォルダ名の付け方は、Windows の名前をつける規則に従います。

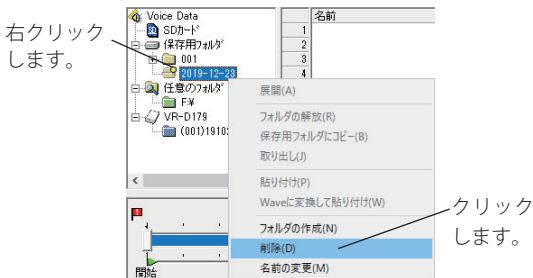


※フォルダ表示欄のフォルダ名が変わります。

● 保存用フォルダを削除する

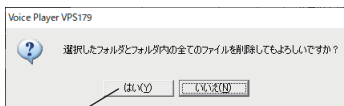
保存用フォルダを削除することができます。

- ① 削除したいフォルダを選択して、右クリックします。



※削除の確認画面を表示します。

- ② [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

※フォルダ表示欄のフォルダが削除されます。

● ワンポイント

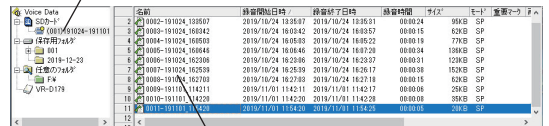
- 保存用フォルダを削除すると、フォルダ内のすべての音声ファイル、サブフォルダが削除されます。注意してください。

ファイルのバックアップ保存

■ SD カードファイルのバックアップ保存

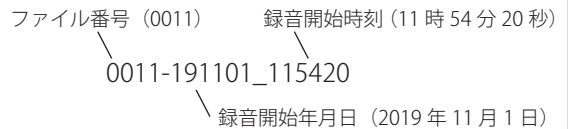
SD カードに保存された音声ファイルを一括して保存用フォルダにバックアップコピーします。

- ① 「フォルダの操作—フォルダの選択—SD カードを選択する場合」(11 ページ) の手順で、SD カードを選択します。
- ② SD カード内のフォルダをクリックします。
※フォルダ内の音声ファイルを表示します。
クリックします。



フォルダ内の音声ファイルが表示されます。

※ファイル名は次のように付けられます。



- ③ メニューバーの「ファイル」→「保存用フォルダにバックアップ」をクリックまたは、ツールボタンの「保存用フォルダにバックアップ」ボタンをクリックします。

クリックします。

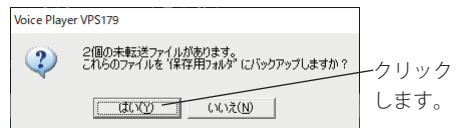


クリックします。

クリックします。

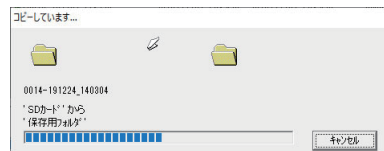
※バックアップの確認画面を表示します。

- ④ [はい] ボタンをクリックします。



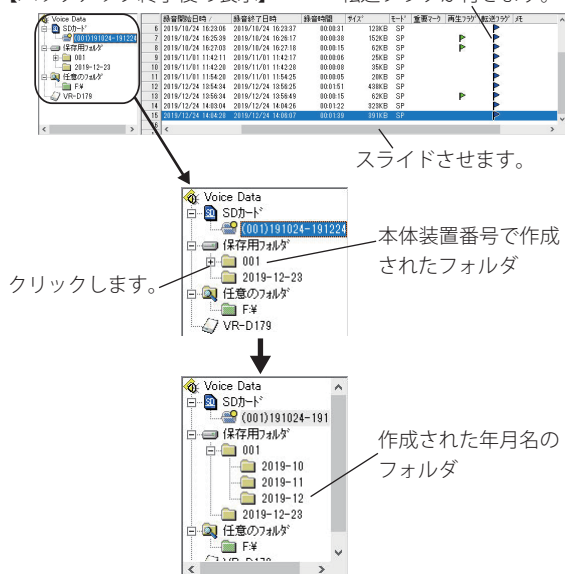
クリックします。

※以前にバックアップされていないデータのバックアップを開始します。



- ⑤ バックアップが終了すると、保存用フォルダの中に装置番号（装置名）のフォルダと、その下に年月名のフォルダが表示されます。

【バックアップ終了後の表示】 転送フラグが付きます。



- ⑥ フォルダをクリックします。

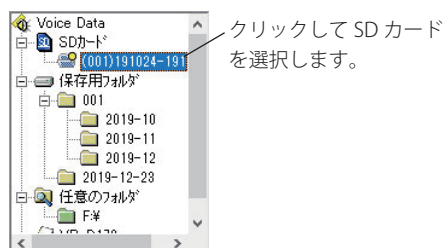
※フォルダ内の音声ファイルを表示します。



SD カード取り出し時の注意

SD カードをカードリーダーから取り出すときは、次の手順で取り出してください。

- ① SD カードを選択します。

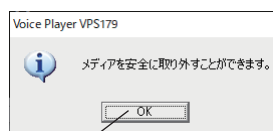


- ② メニューバーの「ファイル」→「取り出し」をクリックまたは、ツールボタンの [取り出し] ボタンをクリックします。



※案内画面を表示します。

- ③ [OK] ボタンをクリックします。

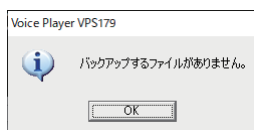


クリックします。

- ④ SD カードをカードリーダーから取り出します。

ワンポイント

- 一度バックアップ保存で転送されたファイルは、バックアップ済み扱いとなり、再度バックアップはできません。
- SD カード内にバックアップ前の音声ファイルがない場合は、次の案内を表示します。

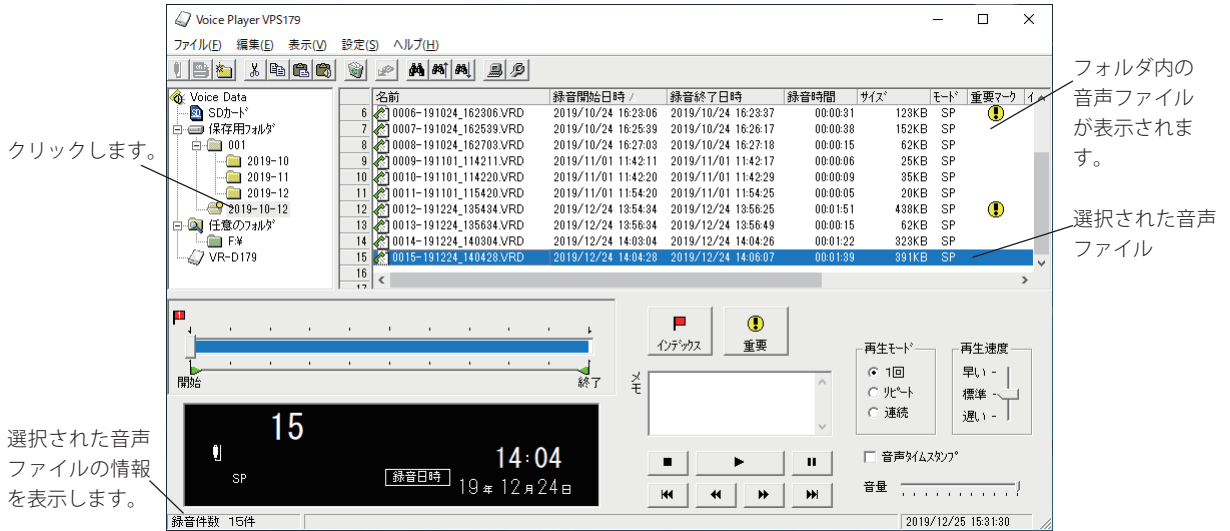


ファイルの操作

保存用フォルダ内の音声ファイルの操作について説明します。SD カードおよび任意のフォルダ内の音声ファイルの操作も同様ですが、一部操作できない項目があります。下記の「ファイル操作一覧表」を参照してください。

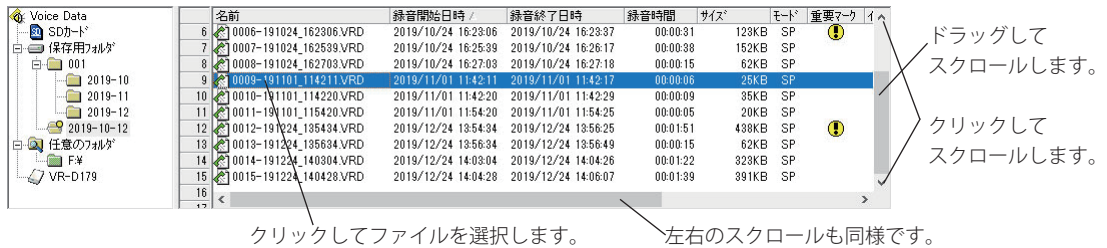
■ ファイルの選択

フォルダの選択で選んだフォルダをクリックすると、「ファイル情報取得中」のあと、ファイル表示欄に音声ファイルが一覧表示されます。



● ファイルの選択

表示された音声ファイル一覧から目的のファイルをクリックします。



● ファイル操作一覧表

「VPS179」でファイル操作のできる項目は、選択しているフォルダによって次のようになります。

○：できる操作 ×：できない操作

【USB 接続の VR-D179 のフォルダからは、ファイルの転送だけができます。】

選択しているフォルダ	コピー	切取り	貼付け	WAV貼付	削除	名前変更	再生	重要	インデックス	メモ
SD カードのフォルダ	○	×	×	×	○	×	○	○	○*1	○
保存用フォルダ	VRD ファイル	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WAV ファイル	○	○	○	×	○	○	×	○*1	×
任意のフォルダ	VRD ファイル	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	WAV ファイル	○	○	○	×	○	○	×	○*1	×

* 1：操作のみできます。保存はできません。

● ファイル表示欄の情報（保存用フォルダの例）

表示された音声ファイルの情報は次のとおりです。

パソコンの1つのフォルダに9999件まで保存されます。

フォルダ表示欄	ファイル名	録音の開始と終了の日時	録音時間	録音モード	インデックスの数				
 SDカード 保存用フォルダ 001 2019-10 2019-11 2019-12 任意のフォルダ F# VR-D179	名前	録音開始日時 / 録音終了日時	録音時間	サイズ	モード	重要マーク	インデックス	再生フラグ	メモ
	1 0001-191024_101835.VRD	2019/10/24 10:18:35 2019/10/24 10:18:39	00:00:04	18KB	SP		0	再生	
	2 0002-191024_133507.VRD	2019/10/24 13:35:07 2019/10/24 13:35:31	00:00:24	95KB	SP		0	再生	
	3 0003-191024_160342.VRD	2019/10/24 16:03:42 2019/10/24 16:03:57	00:00:15	62KB	SP	!	0	再生	
	4 0004-191024_160503.VRD	2019/10/24 16:05:03 2019/10/24 16:05:22	00:00:19	77KB	SP		0	再生	
	5 0005-191024_160646.VRD	2019/10/24 16:06:46 2019/10/24 16:07:20	00:00:34	137KB	SP		0	再生	
	6 0006-191024_162306.VRD	2019/10/24 16:23:06 2019/10/24 16:23:37	00:00:31	123KB	SP	!	0	再生	
	7 0007-191024_162539.VRD	2019/10/24 16:25:39 2019/10/24 16:26:17	00:00:38	152KB	SP		0	再生	
	8 0008-191024_162703.VRD	2019/10/24 16:27:03 2019/10/24 16:27:18	00:00:15	62KB	SP		0	再生	
	9 0009-191101_114211.VRD	2019/11/01 11:42:11 2019/11/01 11:42:17	00:00:06	25KB	SP		0	再生	
	10 0010-191101_114220.VRD	2019/11/01 11:42:20 2019/11/01 11:42:29	00:00:09	35KB	SP		0	再生	
	11 0011-191101_115429.VRD	2019/11/01 11:54:29 2019/11/01 11:54:35	00:00:05	20KB	SP		0	再生	

◆ フォルダ表示欄で「SD カード」または「VR-D179/VR-D179A」を選択した場合は、ファイル表示欄の情報は次のようになります。

名前	録音開始日時 / 録音終了日時	録音時間	サイズ	モード	重要マーク	再生フラグ	転送フラグ	メモ
1 0001-191024_101835	2019/10/24 10:18:35 2019/10/24 10:18:39	00:00:04	18KB	SP		再生	転送	

※インデックスの数は表示されません。

行番号	ファイル一覧の行番号
ファイル名	ファイルの名称（ファイル番号と録音開始の年月日時分）
録音開始日時	録音開始の日時（西暦年/月/日 時(24時間制):分:秒）
録音終了日時	録音終了の日時（西暦年/月/日 時(24時間制):分:秒）
録音時間	録音時間（時間:分:秒）
ファイルサイズ	ファイルの大きさ
録音モード	SP モード（標準録音モード） LP モード（長時間録音モード）
重要マーク	重要マークが付いていると表示
インデックスの数	インデックスが設定されているとその数を表示
再生フラグ	再生済のファイルに表示
転送フラグ	保存用フォルダへバックアップ済みのファイルに表示
メモ	メモが付けられていると表示（全角で64文字、半角128文字まで）

● ディスプレイの情報

選択された音声ファイルのファイル表示欄とディスプレイ表示欄は、次のように表示されます。

（行番号6を選択した場合の例）

【ファイル表示欄】

6	0006-191024_162306.VRD	2019/10/24 16:23:06	2019/10/24 16:23:37	00:00:31	123KB	SP	!	3	再生	見送り
---	------------------------	---------------------	---------------------	----------	-------	----	---	---	----	-----

【ディスプレイ表示欄】

行番号	再生済のとき（再生フラグ）	重要マークがあるとき
インデックスの数	再生済	重要
メモがあるとき	SP	録音開始日時
録音モード	録音日時	

ワンポイント

● ファイル種別のアイコン表示について

音声ファイルのアイコンは、録音モードの種類などによって色分けされています。

	(緑)	SP (標準) モードで録音されたファイル。
	(赤)	LP (長時間) モードで録音されたファイル。
	(黄)	WAVE 形式に変換されたファイル。

● 音声ファイルの拡張子について

音声ファイルの拡張子は次のように表示されます。

- ・VRD : 本体装置で録音されたファイルの拡張子です。
- ・WAV : WAVE 形式に変換されたファイルの拡張子です。

● 保存用フォルダに保存された音声ファイルのファイル番号は、複数の異なる音声ファイルに同じ番号が表示される場合があります。(録音開始日時は異なります)

※本体装置で転送済み音声ファイルの消去(エンドレス録音での自動消去を含む)を行うと、SD カード内のファイル名はファイル番号が更新されます。従って、このあとの新しい録音は、消去したファイルの数だけ転送済みのファイル番号と同じ番号のファイル名が付けられます。この音声ファイルを転送すると、保存用フォルダに同じファイル番号のファイルが保存されることになります。

● VRD ファイルを WAV ファイルに変換することで、Windows のエクスプローラーなどで外部メディアにコピーして持ち出して再生できます。ファイル形式の変換については、24 ページを参照してください。

● ファイル名の変更

ファイルの名前を変更することができます。

- ① 表示された音声ファイル一覧から目的のファイルをクリックします。
- ② メニューバーの「ファイル」→「ファイル名の変更」をクリックします。

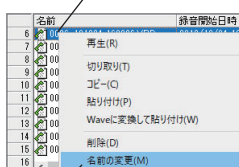
※該当ファイルの右クリックメニューでも「名前の変更」を選択できます。

クリックします。



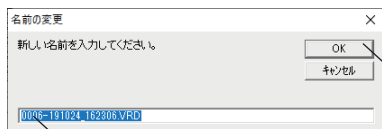
クリックします。

右クリックします。



クリックします。

※【名前の変更】画面を表示します。



名前を入力します。

※ファイル名は、半角英数字で最大 250 文字 (パスを含む) まで入力できます。拡張子に変更できません。

クリック
します。

- ③ キーボードから名前を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

※ファイル名が変わります。

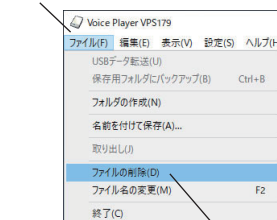
● ファイルの削除

選択したファイルを削除することができます。

- ① 表示された音声ファイル一覧から目的のファイルをクリックします。
- ② メニューバーの「ファイル」→「ファイルの削除」をクリックまたは、ツールボタンの「ファイルの削除」ボタンをクリックします。

※該当ファイルの右クリックメニューでも「削除」を選択できます。

クリックします。



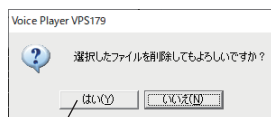
クリックします。

クリックします。



※削除の確認画面を表示します。

- ③ [はい] ボタンをクリックします。



クリックします。

※ファイル表示欄のファイルが削除されます。

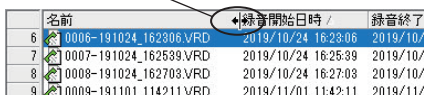
● ファイル表示欄の列幅変更

ファイル表示欄の各項目の列幅を変更することができます。

- ① 変更したい項目列の右端にマウスカーソルを移動します。
- ② カーソルが下図の形になったら、ドラッグして列幅を変更します。

マウスカーソルがこの形になった状態で：

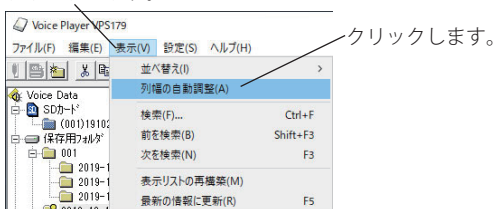
- ・ドラッグすると、列幅を変更することができます。
- ・ダブルクリックすると、列幅を自動調整します。



	名前	録音開始日時 /	録音終了
6	0006-191024_162306.VRD	2019/10/24 16:23:06	2019/10/
7	0007-191024_162539.VRD	2019/10/24 16:25:39	2019/10/
8	0008-191024_162703.VRD	2019/10/24 16:27:03	2019/10/
9	0009-191101_114211.VRD	2019/11/01 11:42:11	2019/11/

- ③ 列幅を元に戻すときは、カーソルが上図の形のときにダブルクリックします。
- ④ すべての項目の列幅を一括して自動調整するとき、メニューバーの「表示」→「列幅の自動調整」をクリックします。

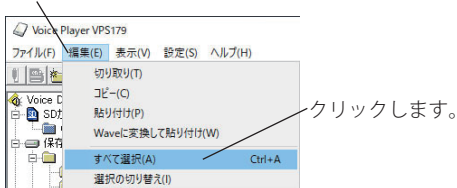
クリックします。



● すべてのファイルを選択

- ① 選択したいフォルダをクリックして、音声ファイルを表示します。
- ② メニューバーの「編集」→「すべて選択」をクリックします。

クリックします。



● ファイルの選択切り替え

メニューバーの「編集」→「選択の切り替え」をクリックすると、選択／非選択を切り替えることができます。
※複数のファイルを選択すると、ディスプレイに選択したファイルの数が表示されます。

選択したファイルの数



👉 ワンポイント

- ファイルの削除やコピーなどの操作は、複数のファイルを同時に行うことができます。

(a) 連続したファイルを選択する方法

- ・キー操作による選択

- ① 最初のファイルをクリックして選択します。
- ② シフトキー ([Shift]) を押しながら、最後のファイルをクリックします。
- ③ シフトキー ([Shift]) を押さないでファイルをクリックすると、選択したファイルがすべて解除されます。

- ・ドラッグによる選択

- ① 最初のファイルをクリックして、マウスポインタに (+) マークの表示がない状態で最後のファイルまでドラッグします。



	名前	録音開始日時 /	録音終了
1	0001-191024_101835.VRD	2019/10/24 10:18:35	2019/10/
2	0002-191024_133507.VRD	2019/10/24 13:35:07	2019/10/
3	0003-191024_160342.VRD	2019/10/24 16:03:42	2019/10/
4	0004-191024_160503.VRD	2019/10/24 16:05:03	2019/10/
5	0005-191024_160646.VRD	2019/10/24 16:06:46	2019/10/
6	0006-191024_162306.VRD	2019/10/24 16:23:06	2019/10/
7	0007-191024_162539.VRD	2019/10/24 16:25:39	2019/10/

マウスポインタに (+) のマークを表示しない状態でドラッグします。

(b) 連続しないファイルを選択する方法

- ① コントロールキー ([Ctrl]) を押しながら、ファイルをクリックします。クリックしたファイルがすべて選択されます。
- ② コントロールキー ([Ctrl]) を押しながら、選択されたファイルをクリックすると、そのファイルの選択が解除されます。



	名前	録音開始日時 /	録音終了
1	0001-191024_101835.VRD	2019/10/24 10:18:35	2019/10/
2	0002-191024_133507.VRD	2019/10/24 13:35:07	2019/10/
3	0003-191024_160342.VRD	2019/10/24 16:03:42	2019/10/
4	0004-191024_160503.VRD	2019/10/24 16:05:03	2019/10/
5	0005-191024_160646.VRD	2019/10/24 16:06:46	2019/10/
6	0006-191024_162306.VRD	2019/10/24 16:23:06	2019/10/
7	0007-191024_162539.VRD	2019/10/24 16:25:39	2019/10/

コントロールキー ([Ctrl]) を押しながら、ファイルをクリックします。

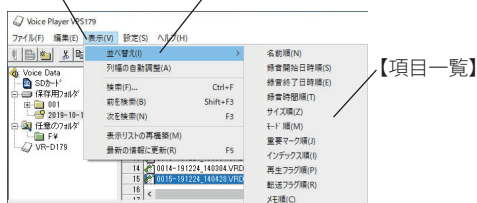
■ ファイルの並べ替え

ファイル表示欄に表示されている音声ファイルを、項目を選択して「昇順」または「降順」に並べ替えることができます。

● 方法1

- ① メニューバーの「表示」をクリックし、「並べ替え」をポイントします。

※「並べ替え」の【項目一覧】が表示されます。
クリックします。 ポイントします。



- ② 【項目一覧】で、並べ替えのキーとする項目を選択してクリックします。



※すべてのファイルを選択した項目で「昇順」に並べ替えます。

名前	録音開始日時	録音終了日時	録音時間
1 0015-191024_101835.VRD	2019/10/24 10:18:35	2019/10/24 10:19:39	00:00:44
2 0011-191101_115420.VRD	2019/11/01 11:54:20	2019/11/01 11:54:25	00:00:05
3 0009-191101_114211.VRD	2019/11/01 11:42:11	2019/11/01 11:42:17	00:00:06
4 0010-191101_114220.VRD	2019/11/01 11:42:20	2019/11/01 11:42:29	00:00:09
5 0009-191024_160342.VRD	2019/10/24 16:03:42	2019/10/24 16:03:57	00:00:15
6 0008-191024_162703.VRD	2019/10/24 16:27:03	2019/10/24 16:27:18	00:00:15

(例)「録音時間」で「昇順」に並べ替えます。

● 方法2

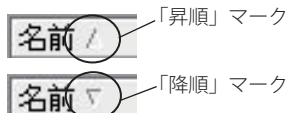
- ① ファイル表示欄で、並べ替えのキーとする項目をクリックします。
- ② クリックするたびに、該当の項目で「昇順／降順」が切り替ります。

並べ替えのキーとする項目をクリックします。

名前	録音開始日時	録音終了日時	録音時間
1 0015-191024_140428.VRD	2019/12/24 14:04:28	2019/12/24 14:06:07	00:01:39
2 0014-191224_140304.VRD	2019/12/24 14:03:04	2019/12/24 14:04:26	00:01:22
3 0010-191224_135634.VRD	2019/12/24 13:56:34	2019/12/24 13:56:49	00:00:15
4 0012-191224_135434.VRD	2019/12/24 13:54:34	2019/12/24 13:56:25	00:01:51
5 0011-191101_115420.VRD	2019/11/01 11:54:20	2019/11/01 11:54:25	00:00:05
6 0010-191101_114220.VRD	2019/11/01 11:42:20	2019/11/01 11:42:29	00:00:09

(例) この例では「名前」で「降順」に並べ替えてあります。
もう一度クリックすると「昇順」で並べ替えます。

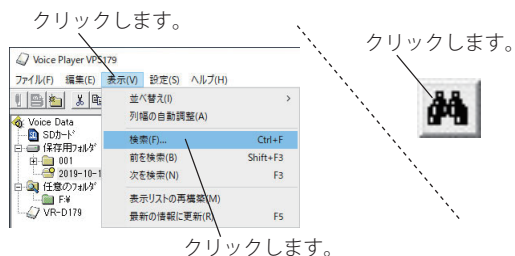
※「昇順／降順」の区別は、項目の右側に記号で表示されます。



■ ファイルの検索

ファイル名またはメモの内容をキーにして、ファイルを検索することができます。

- ① メニューバーの「表示」→「検索」をクリックまたは、ツールボタンの「検索」ボタンをクリックします。



※【検索】画面を表示します。

検索するキーを選択します。 検索する文字列を入力します。



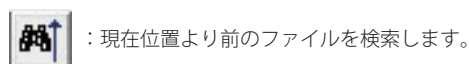
検索条件を指定します。 ※クリックすると検索履歴が表示され、キーとなる文字列を選択することもできます。

- ② 検索するキー（ファイル名またはメモ）を選択して、検索する文字を入力します。
- ③ 検索条件を指定します。

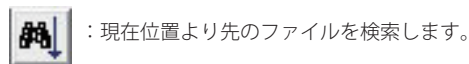
- ・「完全一致」を選択すると、検索する文字列と完全に一致するファイルを検索します。
- ・「部分一致」を選択すると、検索する文字列を含むファイルを検索します。

- ④ [前を検索] または [次を検索] をクリックして検索を実行します。

ツールボタンの「前を検索」ボタンまたは「次を検索」ボタンをクリックしても、同じ条件で検索を実行します。



：現在位置より前のファイルを検索します。



：現在位置より先のファイルを検索します。

👉 ワンポイント

- 検索する文字列として、ファイル名およびメモは全角 127 文字、半角 255 文字まで入力できます。
- 英文字の大文字／小文字は区別しません。

■ 表示リストの再構築

音声ファイルを選択してコピー保存などを行ったときに、“ファイルが見つかりません・・・”などの警告が表示される場合は、フォルダ内の音声ファイルが変更されていると考えられます。

次の手順で表示リストを更新してください。

- ① メニューバーの「表示」→「表示リストの再構築」をクリックします。

クリックします。



※フォルダ内のファイル情報を取得して、ファイル表示欄の表示リストを再構築します。

※件数によりしばらく時間がかかることがあります。

STOP お願い

- 本ソフト以外のツール（エクスプローラーなど）で、SDカードや保存用フォルダ内の音声ファイルの、削除・コピー・編集などの操作をしないでください。再生などの操作ができなくなる場合があります。

ファイル形式をそのまま保存

ファイルを指定してパソコンのハードディスクや外部のリムーバブルディスクなどに.VRD ファイル形式(※)で保存することができます。

※ ソフトで作成されるファイル形式

● SD カードのファイル保存

本書「SD カードファイルのバックアップ保存」(14 ページ)を参照してください。

● ファイルを選択して保存

音声ファイルを選択して、他のフォルダやメモリに保存(貼り付け)します。

◆ コピー→貼り付け

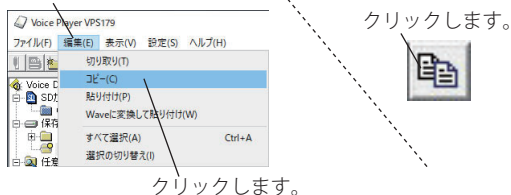
- ① 表示された音声ファイル一覧から保存したいファイルをクリックします。

保存したいファイルをクリックします。

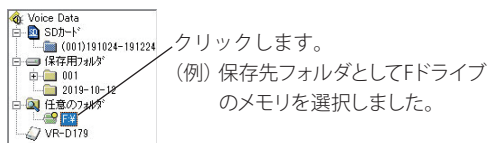
名前	録音開始日時	録音終了日時
1 0001-191024_16035.VRD	2019/10/24 10:18:35	2019/10/24 10:18:39
2 0002-191024_16035.VRD	2019/10/24 13:35:07	2019/10/24 13:35:11
3 0003-191024_160342.VRD	2019/10/24 16:03:42	2019/10/24 16:03:57
4 0004-191024_160503.VRD	2019/10/24 16:05:03	2019/10/24 16:05:22
5 0005-191024_160646.VRD	2019/10/24 16:06:46	2019/10/24 16:07:20
6 0006-191024_162306.VRD	2019/10/24 16:23:06	2019/10/24 16:23:37
7 0007-191024_162539.VRD	2019/10/24 16:25:39	2019/10/24 16:26:17

- ② メニューバーの「編集」→「コピー」をクリックまたは、ツールボタンの「コピー」ボタンをクリックします。

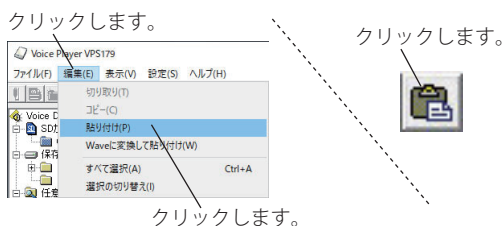
※ 該当ファイルの右クリックメニューでも「コピー」を選択できます。
クリックします。



- ③ 保存先のフォルダをクリックします。



- ④ メニューバーの「編集」→「貼り付け」をクリックまたは、ツールボタンの「貼り付け」ボタンをクリックします。

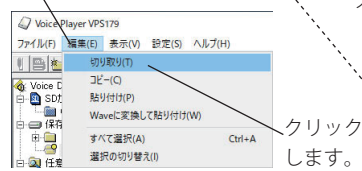


※ 保存先のフォルダに貼り付けされます。

◆ 切り取り→貼り付け

「コピー→貼り付け」手順において、「コピー」の代わりに「切り取り」をクリックすると、貼り付け後、元ファイルが削除されます。(ファイルが移動されたこととなります)

クリックします。



クリックします。



ただし、元ファイルがSDカードにあるときは、この操作はできません。

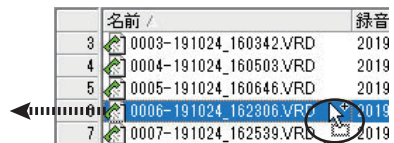
📌 ワンポイント

- 複数のファイルを選択すると、一括してコピー/貼り付けなどの操作ができます。

- ドラッグによるファイルのコピー

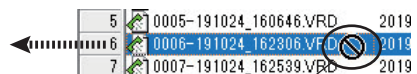
ファイル表示欄のファイルをドラッグしてフォルダ表示欄のフォルダにコピーすることができます。

- ① ファイル表示欄でコピーするファイルをクリックして、マウスポインタに(+)マークを表示している状態で、マウスのボタンを押します。



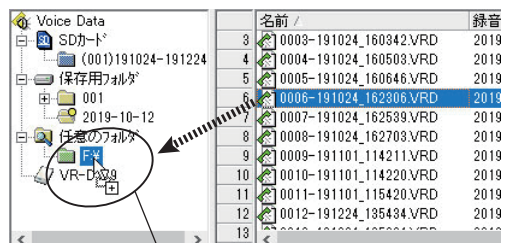
マウスポインタに(+)のマークを表示している状態でボタンを押します。

- ② フォルダ表示欄の目的のフォルダまでドラッグします。



目的のフォルダまでドラッグします。

- ③ 目的のフォルダにドロップします。

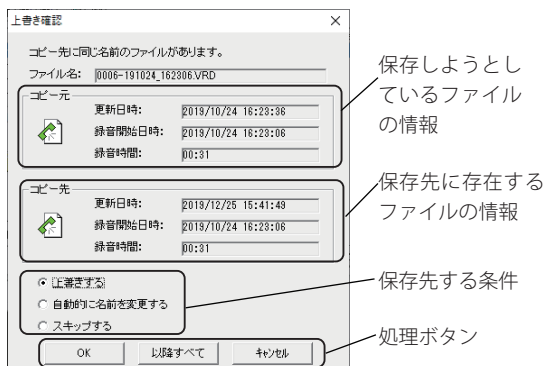


目的のフォルダにドロップします。

- ◆ 複数のファイルを選択して、ドラッグコピーすることもできます。

● 同じ名前のファイルがあったとき

保存先に同じ名前のファイルがあったときは、次の【上書き確認】の画面が開いて、処理を選択することができます。



① 保存する条件を選択します。

・上書きする

すでに存在するファイルを消去して書き込むときに選択します。

・自動的に名前を変更する

存在するファイルはそのまま、ファイル名を変えて書き込むときに選択します。新しいファイル名は自動的に付けられます。

(例) 旧ファイル名.VRD → 旧ファイル名 (2).VRD

・スキップする

該当ファイルは保存しないで、次の処理に移るときに選択します。

② 処理ボタンをクリックします。

・[OK] ボタン

選択した保存条件で処理を開始するときにクリックします。

・[以降すべて] ボタン

複数のファイルを保存するときにクリックします。選択したほかのファイルに対しても同じ条件で保存されます。

・[キャンセル] ボタン

ファイルの保存処理をキャンセルするときにクリックします。

● 名前を付けて保存

選択したファイルに別の名前を付けて保存します。

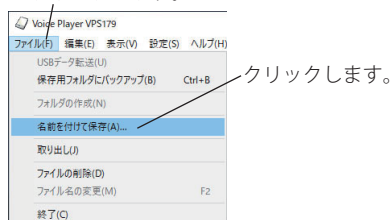
① 表示された音声ファイル一覧から保存したいファイルをクリックします。

保存したいファイルをクリックします。

名前	録音開始日時	録音終了日時
1 0001-191024_160335.VRD	2019/10/24 16:03:35	2019/10/24 16:18:39
2 0002-191024_160357.VRD	2019/10/24 16:03:57	2019/10/24 16:35:31
3 0003-191024_160342.VRD	2019/10/24 16:03:42	2019/10/24 16:03:57
4 0004-191024_160503.VRD	2019/10/24 16:05:03	2019/10/24 16:05:22
5 0005-191024_160546.VRD	2019/10/24 16:05:46	2019/10/24 16:07:20
6 0006-191024_162306.VRD	2019/10/24 16:23:06	2019/10/24 16:23:37
7 0007-191024_162539.VRD	2019/10/24 16:25:39	2019/10/24 16:26:17

② メニューバーの「ファイル」→「名前をつけて保存」をクリックします。

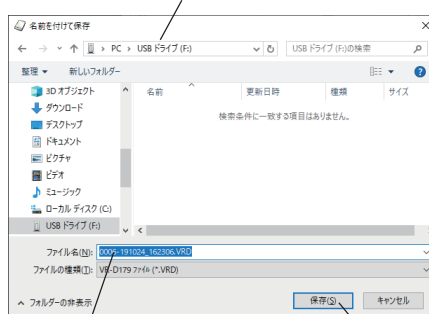
クリックします。



※【名前をつけて保存】画面が表示されます。

③ 保存先のフォルダを選択してファイル名を付けます。

保存するフォルダを選択します。



ファイル名を付けます。

クリックします。

④ [保存] ボタンをクリックします。

※保存先のフォルダに別の名前で保存されます。

WAVE 形式に変換して保存

ファイルを指定してパソコンのハードディスクや外部のリムーバブルディスクなどに .WAV ファイル形式(※)で保存することができます。

※ Windows の標準的な音声形式

● ファイルを選択して保存

音声ファイルを選択して、他のフォルダやメモリに保存 (貼り付け) します。

◆ コピー→ Wave に変換して貼り付け

- ① 表示された音声ファイル一覧から保存したいファイルをクリックします。

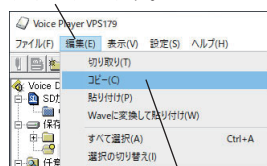
保存したいファイルをクリックします。

名前	録音開始日時	録音終了日時
1 0001-191024_160935.VRD	2019/10/24 16:09:35	2019/10/24 16:10:39
2 0002-191024_160937.VRD	2019/10/24 16:09:37	2019/10/24 16:10:41
3 0003-191024_160942.VRD	2019/10/24 16:09:42	2019/10/24 16:10:57
4 0004-191024_160953.VRD	2019/10/24 16:09:53	2019/10/24 16:10:57
5 0005-191024_160946.VRD	2019/10/24 16:09:46	2019/10/24 16:07:20
6 0006-191024_162006.VRD	2019/10/24 16:20:06	2019/10/24 16:20:37
7 0007-191024_162039.VRD	2019/10/24 16:20:39	2019/10/24 16:26:17

- ② メニューバーの「編集」→「コピー」をクリックまたは、ツールボタンの [コピー] ボタンをクリックします。

※ 該当ファイルの右クリックメニューでも「コピー」を選択できます。

クリックします。



クリックします。



クリックします。

- ③ 保存先のフォルダをクリックします。

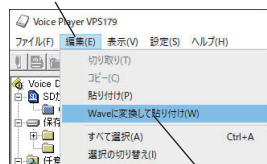


クリックします。

(例) 保存先フォルダとして F ドライブのメモリを選択しました。

- ④ メニューバーの「編集」→「Wave に変換して貼り付け」をクリックまたは、ツールボタンの [Wave に変換して貼り付け] ボタンをクリックします。

クリックします。



クリックします。



クリックします。

◆ 切り取り→ Wave に変換して貼り付け

- ① 対象とする音声ファイルを選択して、メニューバーまたはツールボタンの「切り取り」をクリックします。

クリックします。



クリックします。

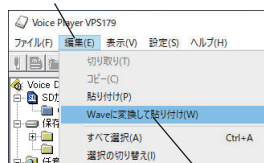


クリックします。

ただし、元ファイルが SD カードにあるときは、この操作はできません。

- ② 保存先のフォルダを選択して、メニューバーまたはツールボタンの [Wave に変換して貼り付け] ボタンをクリックします。

クリックします。

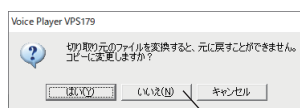


クリックします。



クリックします。

- ③ 下記の確認画面で [いいえ] ボタンをクリックします。この場合、元ファイルは削除されます。(ファイルが移動されたことになります)



クリックします。

[はい] ボタンをクリックすると「コピー→ Wave に変換して貼り付け」と同様の操作になります。(元ファイルは削除されません)

📌 ワンポイント

- 複数のファイルを選択すると、一括してコピー/貼り付けなどの操作ができます。
- ドラッグによるファイルのコピー
本書「ドラッグによるファイルのコピー」(22 ページ)を参照してください。
- WAVE 形式に変換すると次の項目は保存されません。
 - ・ 録音終了日時、重要マーク、インデックスの数、再生フラグ、メモ

.VRD ファイル (本ソフトで作成されるファイル形式)

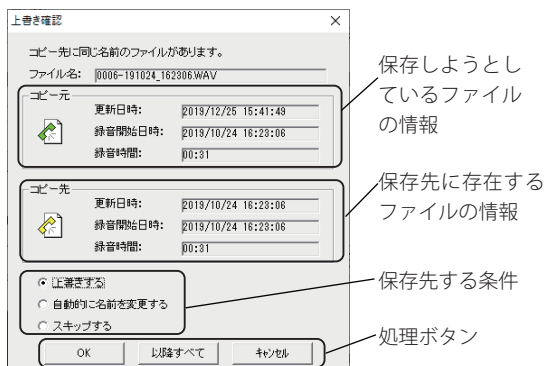
名前	録音開始日時	録音終了日時	録音時間	サイズ	モード	サンプリングレート	チャンネル	再生フラグ	メモ
0006-191024_162006.VRD	2019/10/24 16:20:06	2019/10/24 16:20:37	00:00:31	123KB	SP	48000	2	0	
0006-191024_162006.WAV	2019/10/24 16:20:06			245KB	WAV				

.WAV ファイル

網掛けの項目は保存されません。

● 同じ名前のファイルがあったとき

保存先に同じ名前のファイルがあったときは、次の【上書き確認】の画面が開いて、処理を選択することができます。



① 保存する条件を選択します。

・上書きする

すでに存在するファイルを消去して書き込むときに選択します。

・自動的に名前を変更する

存在するファイルはそのまま、ファイル名を変えて書き込むときに選択します。新しいファイル名は自動的に付けられます。

(例) 旧ファイル名.WAV → 旧ファイル名 (2).WAV

・スキップする

該当ファイルは保存しないで、次の処理に移るときに選択します。

② 処理ボタンをクリックします。

・[OK] ボタン

選択した保存条件で処理を開始するときにクリックします。

・[以降すべて] ボタン

複数のファイルを保存するときにクリックします。選択したほかのファイルに対しても同じ条件で保存されます。

・[キャンセル] ボタン

ファイルの保存処理をキャンセルするときにクリックします。

● 名前を付けて保存

選択したファイルに別の名前を付けて Wave ファイル形式で保存します。

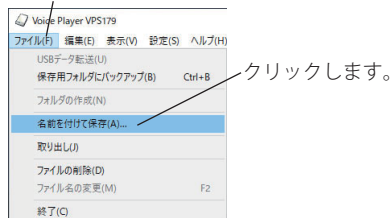
① 表示された音声ファイル一覧から保存したいファイルをクリックします。

保存したいファイルをクリックします。

名前	録音開始日時	録音終了日時
1 0001-191024_160335.VRD	2019/10/24 16:03:35	2019/10/24 16:03:39
2 0002-191024_160507.VRD	2019/10/24 16:05:07	2019/10/24 16:05:21
3 0003-191024_160342.VRD	2019/10/24 16:03:42	2019/10/24 16:03:57
4 0004-191024_160503.VRD	2019/10/24 16:05:03	2019/10/24 16:05:22
5 0005-191024_160646.VRD	2019/10/24 16:06:46	2019/10/24 16:07:20
6 0006-191024_162306.VRD	2019/10/24 16:23:06	2019/10/24 16:23:27
7 0007-191024_162339.VRD	2019/10/24 16:23:39	2019/10/24 16:23:47

② メニューバーの「ファイル」→「名前をつけて保存」をクリックします。

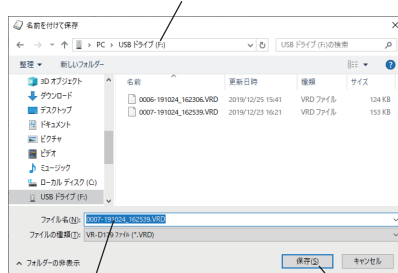
クリックします。



※【名前をつけて保存】画面が表示されます。

③ 保存先のフォルダを選択して、ファイル名を付けます。

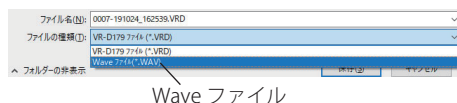
保存するフォルダを選択します。



ファイル名を付けます。

クリックします。

④ [ファイルの種類] で「Wave ファイル (.WAV)」を選択して、[保存] ボタンをクリックします。



Wave ファイル



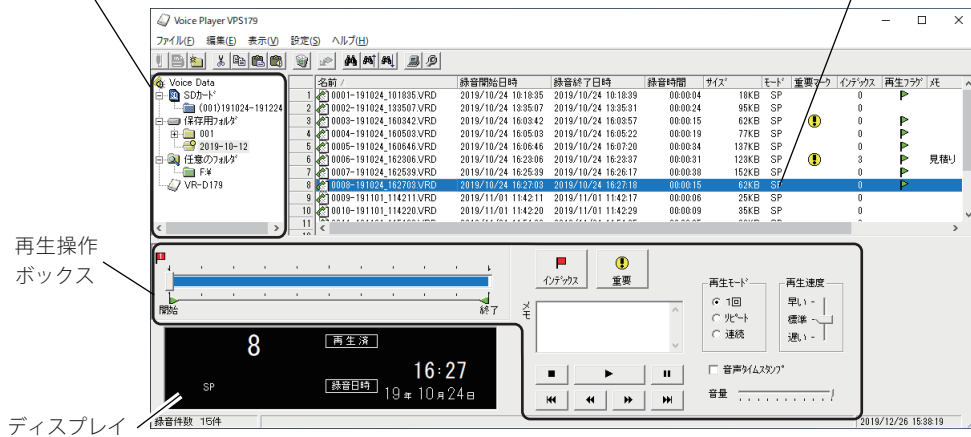
クリックします。

再生

再生操作ボックスのボタン操作で、音声ファイルの再生と、その他の再生オプション操作を行います。

再生するファイルが保存されたフォルダを選択します。
「フォルダの選択」(11 ページ)

再生するファイルを選択します。
「ファイルの選択」(16 ページ)

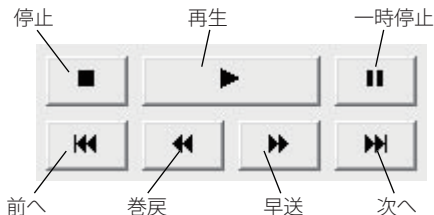


■ 基本的な操作

ファイル表示欄で再生したいファイルをクリックして選択します。

● 再生操作ボタンのはたらき

[再生操作] ボタン

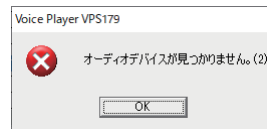


- ・再生 : 選択したファイルを再生します。
- ・停止 : 再生を停止します。
- ・一時停止 : 再生中にクリックすると、再生を一時停止します。一時停止中にクリックすると、再生を再開します。
- ・前へ : 再生中にクリックすると、そのファイルの冒頭に戻ります。インデックスがあるときは、ひとつ前のインデックスに戻ります。停止中にクリックすると、ひとつ前のファイルに戻ります。
- ・次へ : 再生中にクリックすると、次のファイルに進みます。インデックスがあるときは、ひとつ先のインデックスに進みます。停止中にクリックすると、次のファイルに進みます。

- ・巻戻 : 3 秒前に戻します。再生停止中は無効です。
- ・早送 : 3 秒先に進めます。再生停止中は無効です。

👉 ワンポイント

- 音声ファイルを再生したときに、スピーカなどのオーディオデバイスが接続されていない場合は、以下のメッセージが出力されます。



スピーカなどのオーディオデバイスが接続されていることを確認して、[OK] ボタンをクリックしてください。

● 再生中のディスプレイ表示

再生中は、ディスプレイに次のような情報が表示されます。

インデックス通過中に表示されます。 再生中のマーク



再生の一時停止中は、再生中のマークが変わり、再生位置の表示と共に点滅します。

一時停止マーク



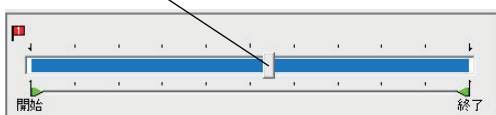
👉 ワンポイント

- 音声ファイルを選択したときに、そのファイルが見つからない場合などは、[再生操作] ボタンが操作できません。「表示リストの再構築」(21 ページ) の手順で表示リストを更新してください。

● 再生位置スライダーについて

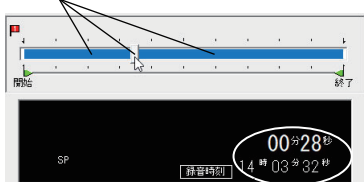
再生中は、下図のようにスライダーが移動して現在の再生位置を示します。

スライダー：再生中に移動して現在の再生位置を示します。



スライダーをドラッグして再生位置の確認や変更ができます。

スライダーをドラッグしたり再生位置をクリックして移動できます。



ドラッグ中は、再生位置と録音時刻を表示します。

※再生範囲内で再生位置をクリックすると、約3秒分、戻るまたは進みます。

■ オプション操作

● インデックスフラグの設定

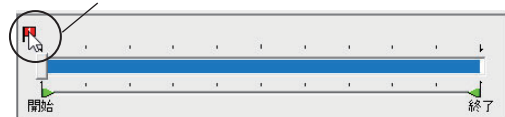
音声ファイルに目印としてインデックスフラグを設定することができます。インデックスフラグはひとつのファイルに最大5個まで付けられます。

インデックスフラグの設定には、次の3通りの方法があります。

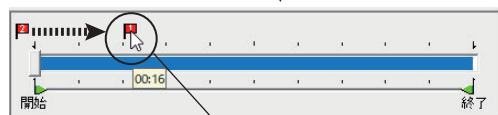
◆ 方法1

- ① 再生停止中にインデックスフラグをドラッグアンドドロップします。

インデックスフラグをクリックし....



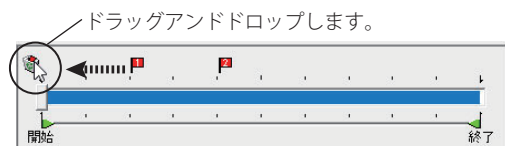
※次に設定するインデックスの番号に変わります。



ドラッグアンドドロップします。

- ② 設定したインデックスフラグを左端までドラッグアンドドロップすると、そのインデックスフラグを削除することができます。

※インデックスフラグの右クリックメニューで、[削除] をクリックしても削除できます。



ドラッグアンドドロップします。

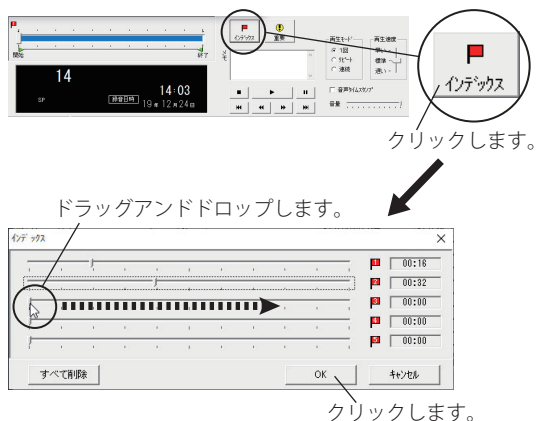
◆ 方法 2

- ① 再生停止中に「インデックス」ボタンをクリックします。

※【インデックスウインドウ】が開きます。

※インデックスフラグの右クリックメニューで、「編集」をクリックしても【インデックスウインドウ】を表示できます。

- ② スライダーをドラッグアンドドロップして、「[OK]」ボタンをクリックします。



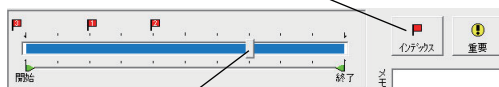
- ③ 設定したインデックスフラグを左端までドラッグアンドドロップして「[OK]」ボタンをクリックすると、そのインデックスフラグを削除することができます。
- ④ 「すべて削除」→「[OK]」ボタンをクリックすると、表示しているすべてのインデックスフラグを削除します。



◆ 方法 3

- ① 再生中にインデックスを置きたい位置で「インデックス」ボタンをクリックします。

再生中にクリックすると、現在再生中の位置にインデックスフラグが追加されます。



この位置にインデックスフラグが追加されます。

- ② スライダーがインデックスを通過中に「インデックス」ボタンをクリックすると、インデックスを解除できます。

※インデックスを通過中は、ディスプレイに通過中のインデックス番号を表示します。

通過中のスライダー



● 重要マークの指定

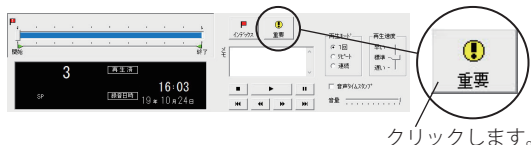
大切な音声ファイルには重要マークを付けて管理することができます。

- ① 表示された音声ファイル一覧から重要マークを付けるファイルをクリックします。

重要マークを付けるファイルをクリックします。

	名前	録音開始日時 /	録音終了日時
1	0001-191024_101835.VRD	2019/10/24 10:18:35	2019/10/24 10:18:39
2	0002-191024_133507.VRD	2019/10/24 13:35:07	2019/10/24 13:35:31
3	0003-191024_160342.VRD	2019/10/24 16:03:42	2019/10/24 16:03:57
4	0004-191024_160503.VRD	2019/10/24 16:05:03	2019/10/24 16:05:22
5	0005-191024_160646.VRD	2019/10/24 16:06:46	2019/10/24 16:07:20
6	0006-191024_162306.VRD	2019/10/24 16:23:06	2019/10/24 16:23:37
7	0007-191024_162539.VRD	2019/10/24 16:25:39	2019/10/24 16:26:17

- ② [重要] ボタンをクリックします。



クリックします。

	名前	録音開始日時 /	録音終了日時	録音時間	サイズ	モード	重要マーク
1	0001-191024_101835.VRD	2019/10/24 10:18:35	2019/10/24 10:18:39	00:00:04	18KB	SP	
2	0002-191024_133507.VRD	2019/10/24 13:35:07	2019/10/24 13:35:31	00:00:24	95KB	SP	
3	0003-191024_160342.VRD	2019/10/24 16:03:42	2019/10/24 16:03:57	00:00:15	81KB	SP	!
4	0004-191024_160503.VRD	2019/10/24 16:05:03	2019/10/24 16:05:22	00:00:19	77KB	SP	
5	0005-191024_160646.VRD	2019/10/24 16:06:46	2019/10/24 16:07:20	00:00:34	137KB	SP	

重要マークが付きます。

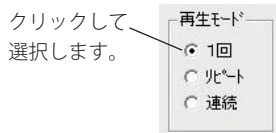
重要マークが付きます。



- ③ 重要マークが付いているファイルを選択して [重要] ボタンをクリックすると、重要マークが削除されます。

● 再生モードの選択

音声ファイルを再生するときの「再生モード」は次の3つのモードから選択できます。



- ① [オプションボタン] をクリックして再生モードを選択します。

◆ 1回

選択したファイルを1回再生すると再生停止します。

◆ リピート

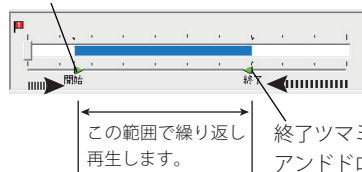
選択したファイルを繰り返し再生します。[停止] ボタンをクリックすると再生停止します。

《リピート範囲の指定》

再生を繰り返す範囲を指定することができます。

再生停止中に「開始ツマミ」および「終了ツマミ」をドラッグアンドドロップして再生範囲を指定します。

開始ツマミをドラッグアンドドロップします。



この範囲で繰り返し再生します。

終了ツマミをドラッグアンドドロップします。

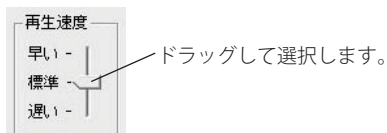
※アンカーをドラッグ中は、ディスプレイにそのポイントの録音時刻を表示します。

◆ 連続

選択指定したファイルから順に再生します。[停止] ボタンをクリックするか、最後のファイルを再生し終わると再生停止します。

● 再生速度の選択

音声ファイルを再生するときの「再生速度」は次の3種類から選択できます。再生中または再生停止中に操作できます。



ドラッグして選択します。

① [ツマリ] をドラッグして再生速度を選択します。

◆ 早い

標準の1.5倍の速度で再生します。

◆ 標準

通常で速度で再生します。

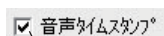
◆ 遅い

標準の0.75倍の速度で再生します。

● 音声タイムスタンプの指定

録音された月日時時刻を合成音でアナウンスする／しないを指定します。

① 音声タイムスタンプを使用するときに、☐をクリックしてチェックを付けます。



クリックしてチェックを付けます。

◆ 音声タイムスタンプを使用すると

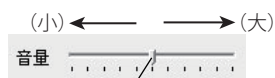
録音内容を再生する前に、タイムスタンプをアナウンスします。「年」と「秒」はアナウンスしません。

👉 ワンポイント

- 音声タイムスタンプを使用する状態で音声ファイルをWaveに変換すると、「音声タイムスタンプ+録音内容」が1つのファイルになります。タイムスタンプの「年」と「秒」はWAVE形式のファイルには含まれません。

● 再生音量の調節

再生音量を調節します。右へドラッグすると音が大きくなります。



ドラッグして調節します。

● メモを付ける

選択したファイルに録音内容や担当者名などの「メモ」を付けることができます。再生中または再生停止中に操作できます。



キーボードからメモを入力します。

👉 ワンポイント

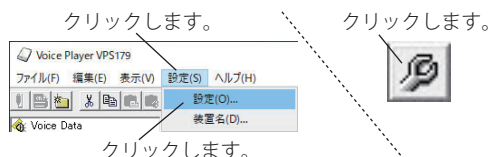
- メモは全角64文字、半角128文字まで入力できます。
- メモの入力で改行を行った場合は、以降のメモはファイル表示欄には表示されません。

設定

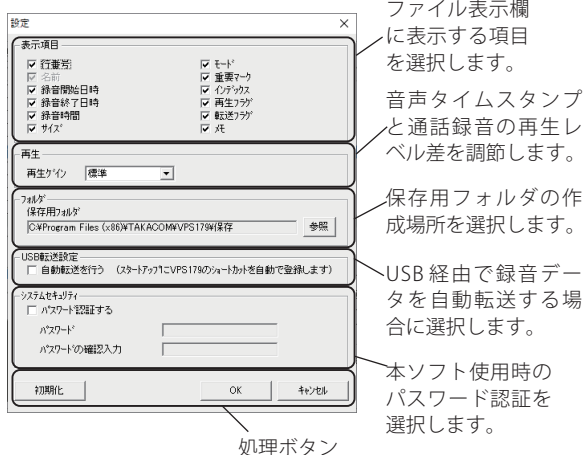
■ 動作条件の設定

本ソフトの動作条件を設定します。

- ① メニューバーの「設定」→「設定」をクリックまたは、ツールボタンの「設定」をクリックします。



※【設定】画面を表示します。



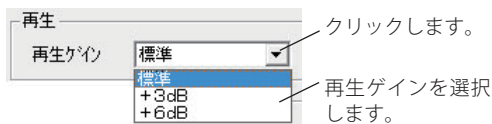
- ② 次の各項目を必要に応じて設定します。

・表示項目

チェックを付けた項目がファイル表示欄に表示されます。「名前」を非表示にすることはできません。

・再生

通話録音の内容が音声タイムスタンプの音量に比べて小さいときは、再生ゲインを「標準」から「+3dB」または「+6dB」に変更してください。



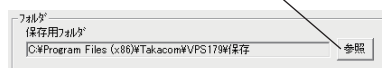
変更した環境は、Wave ファイルで保存するときにも適用されます。Wave ファイルに変換後は、変更は反映されません。

・保存用フォルダ

SD カードの音声ファイルをバックアップするときおよび USB 接続でデータを転送するときに、音声ファイルを保存する「保存用フォルダ」をどこに作成するかを指定します。

初期はプログラムをインストールしたフォルダ内に作成されます。

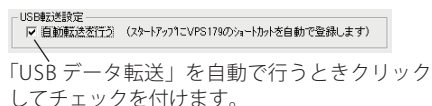
[参照] ボタンをクリックして、フォルダの場所を指定します。



USB 接続でデータを転送を行った場合は「保存用フォルダ」内に、装置番号または装置名のフォルダを自動的に作成します。

・USB 転送設定

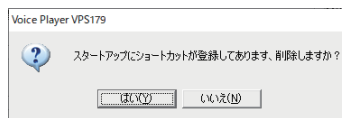
USB 経由で音声データの自動転送を行うときに選択します。



※パソコンのスタートアップに本ソフトが登録されて、パソコンが起動されるとタスクトレイにアイコンが表示されます。
※VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズの本体装置とパソコンが USB 接続されると、自動的にデータ転送を行います。
※USB 接続されている状態では、本体装置で新たな通話録音があるたびにデータが転送されます。

ワンポイント

- USB 転送設定で「自動転送を行う」のチェックを外して [OK] ボタンをクリックすると、次の確認画面を表示します。



- ・[はい] ボタンをクリックすると、パソコンのスタートアップから本ソフトのショートカットを削除して設定を変更します。
- ・[いいえ] ボタンをクリックすると、パソコンのスタートアップに本ソフトのショートカットを残して設定を変更します。

・システムセキュリティ

本ソフトを使用するときに、パスワードの認証を行うように設定できます。

クリックしてチェックを付けます。



パスワードを2回入力します。

パスワードは、半角 20 文字まで登録できます。

③ 設定・変更した内容を、処理ボタンで確定します。

・[OK] ボタン

設定・変更した内容を保存して終了するときにクリックします。

・[キャンセル] ボタン

設定・変更した内容を保存しないで終了するときにクリックします。

・[初期化] ボタン

設定内容をすべて初期値に戻すときにクリックします。

STOP お願い

- パスワードを忘れると本ソフトの【基本画面】が開かず操作することができなくなります。ご注意ください。
- パスワードの入力を3回間違えると、本ソフトが最小化され自動転送も行われなくなります。ご注意ください。また、このとき、タスクバーの最小化されたアイコンをダブルクリックすることで、再度パスワード入力画面が表示されます。

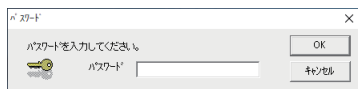
👉 ワンポイント

- 設定・変更した内容はログインした Windows ユーザーのみに反映されます。他の Windows ユーザーの設定内容を変更する場合は、Windows ユーザーを切り替えたあとで、再度設定してください。

👉 ワンポイント

- パスワードを設定すると……

本ソフトの画面を開くときに次のような【パスワード認証】画面を表示します。

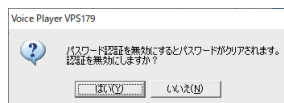


パスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックします。

- パスワード認証を中止するときは……

「パスワード認証する」のチェックを外します。

※パスワードを無効にする確認メッセージを表示します。



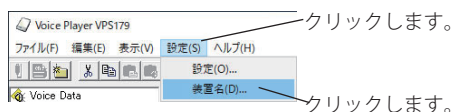
[はい] ボタンをクリックします。

■ 装置名の登録

VR-D179 シリーズの本体装置の装置名と必要であれば暗証番号を装置番号ごとに登録・変更します。

装置名は、本ソフトのフォルダ表示欄に、各装置の装置番号に変わって表示されます。

- ① メニューバーの「設定」→「装置名」をクリックします。



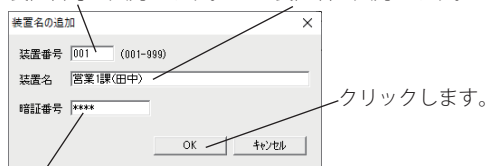
※【装置名】画面を表示します。



- ② 新しい装置名を登録するときに「追加」ボタンをクリックします。

・【装置名の追加】画面が表示されます。

装置番号を入力します。 装置名を入力します。



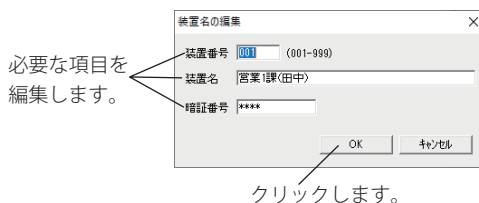
暗証番号を入力します。

- a) 通話録音装置の装置番号を入力します。001～999の999台まで登録できます。
- b) 該当装置の装置名を登録します。全角半角の区別なく20文字まで登録できます。部署名、担当者名など解りやすい名前登録することをお勧めします。
- c) 本体装置に「セキュリティロック」が設定してある場合は、その暗証番号を入力します。各桁1～6の4桁の数字で登録します。
※ 本体装置と異なる暗証番号でも登録できます。
- d) [OK] ボタンをクリックすると【装置名】画面に戻り、新しい装置名が一覧に表示されます。



e) 続けて登録するときは、a)～d)の操作を繰り返します。

- ③ 登録済みの装置名を変更するときは、該当の装置を選択して「編集」ボタンをクリックします。



以降の操作は、追加と同じです。

- ④ 登録済みの装置名を削除するときは、該当の装置を選択して「削除」ボタンをクリックします。
・装置名が削除され、【装置名】画面から削除されます。

- ⑤ 登録・変更した内容を、保存して終了するときに [OK] ボタンをクリックします。
[キャンセル] ボタンをクリックすると、登録・変更した内容を保存しないで終了します。

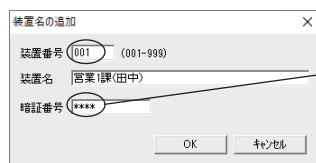
📌 ワンポイント

- 本ソフトと VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズの本体装置において、それぞれの装置番号と暗証番号を同じ値で登録すると、本体装置がセキュリティロック中でも、音声ファイルの検索やコピーなどの操作が行えるようになります。

【設定例】

「装置番号：001、暗証番号：1234」

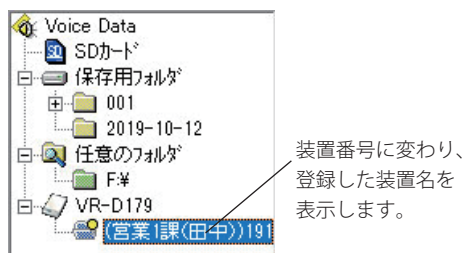
・ VPS179



・ 本体装置 (VR-D179)

登録番号	項目名	値
12	装置番号	001
16	セキュリティロックの暗証番号	1234

● 装置名が表示されたフォルダー一覧の例



👉 ワンポイント

- 装置名の登録画面で、「装置番号」または「装置名」の項目をクリックすると、それぞれの項目で並べ替え（ソート）ができます。

USB データ転送

本ソフトをインストールしたパソコンと VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズの本体装置を市販の USB ケーブルで接続して、本体装置にセットされた SD カードの音声ファイルをパソコンのハードディスクなどに転送することができます。

データ転送には手動転送と自動転送の 2 種類があります。

■ 手動転送

手動転送は、本ソフトの【基本画面】から、「USB データ転送」を選択して行います。

本体装置にセットされた SD カード内の未転送の音声ファイルを一括して保存用フォルダに転送コピーします。

① 本ソフトを起動して【基本画面】を表示しておきます。

② 本体装置に SD カードをセットします。

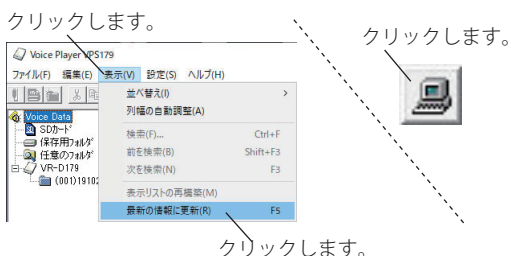
③ VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズの本体装置と、パソコンを USB ケーブルで接続します。

※ 電源は、USB 経由でパソコンから供給されます。電源アダプタを接続する必要はありません。

※ 本体装置との接続が完了すると【基本画面】のディスプレイに「USB」マークが表示されます。



④ メニューバーの「表示」→「最新の情報に更新」をクリックまたは、ツールボタンの「最新の情報に更新」ボタンをクリックします。

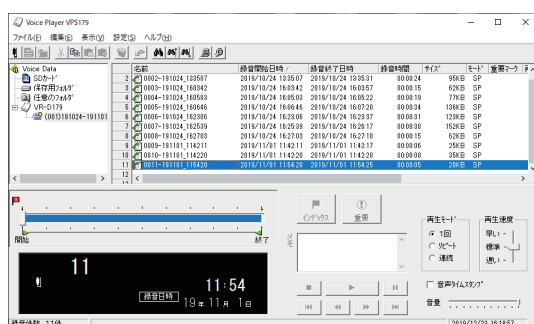


※ 本体装置 SD カード内のフォルダを表示します。

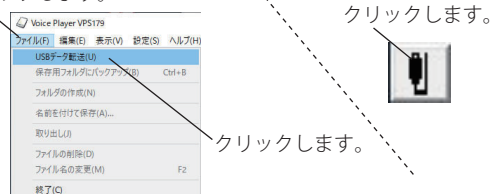
⑤ フォルダをクリックします。



※ フォルダ内の音声ファイルを表示します。

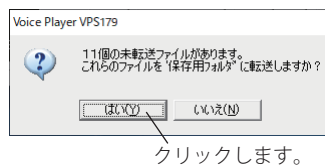


⑥ メニューバーの「ファイル」→「USB データ転送」をクリックまたは、ツールボタンの「USB データ転送」ボタンをクリックします。

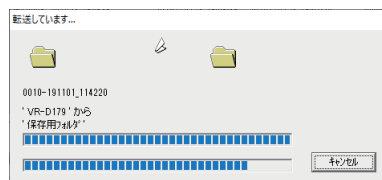


※ 転送の確認画面を表示します。

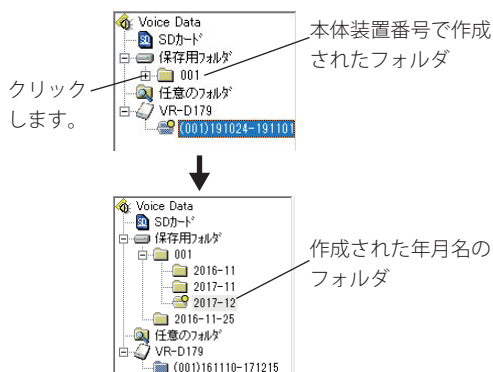
⑦ [はい] ボタンをクリックします。



※ 以前に転送されていないデータの転送を開始します。

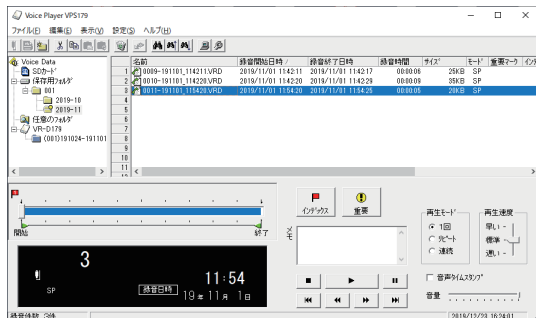


⑧ 転送が終了すると、保存用フォルダの中に装置番号（装置名）のフォルダと、その下に年月名のフォルダが表示されます。



⑨ フォルダをクリックします。

※ フォルダ内の音声ファイルを表示します。

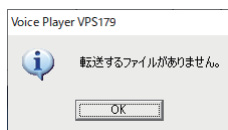


STOP お願い

- 本ソフトでは、当社の従来製品「VR-D170 シリーズ」を USB 経由でパソコンに接続しての使用はできません。VR-D170 シリーズをご使用になるときは、「VPS170」をご使用ください。
- 1 台のパソコンに 2 台以上の VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズの本体装置を USB 接続しないでください。
- 手順⑤で、本体装置の SD カード内ファイルを再生するなどの操作はできません。保存用フォルダに転送してから操作してください。
ファイルの操作、再生の操作などは「ファイルの操作」(16 ページ) および「再生」(26 ページ) と同じです。

ワンポイント

- USB データ転送で転送されたファイルは、転送済み扱いとなり、再度転送はできません。
- SD カード内に未転送の音声ファイルがない場合は、次の案内を表示します。



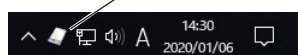
■ 自動転送

自動転送は、パソコンと USB ケーブルで接続された VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズの本体装置で通話録音が発生するたびに、SD カードの音声ファイルを保存用フォルダに転送コピーします。

自動転送を行うには、本ソフトの「USB 転送設定」で“自動転送を行う”をチェックします。この設定を行うと、本ソフトは自動的にパソコンの「スタートアップ」に登録されます。詳しくは「設定」(31 ページ) を参照してください。

- ① パソコンを起動して、タスクトレイに「Voice Player VPS179」のアイコンを表示していることを確認します。

「Voice Player VPS179」のアイコン



- ② アイコンをポイントして“自動転送中”と表示することを確認します。



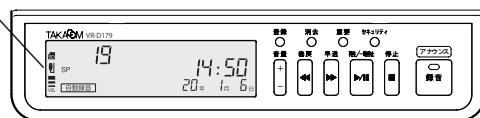
マウスポインタでポイントします。

- ③ SD カードをセットした VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズの本体装置とパソコンを USB ケーブルで接続します。

※ 本体装置の電源は、USB 経由でパソコンから供給されます。電源アダプタを接続する必要はありません。

- ④ 本体装置のディスプレイに USB マークを表示することを確認します。

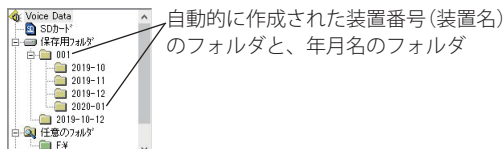
USB マーク 【本体装置ディスプレイ】



- ⑤ 以後、本体装置で通話録音が発生すると、そのつど音声ファイルデータが保存用フォルダに転送されます。

ワンポイント

- 転送データは、保存用フォルダの中に装置番号 (装置名) のフォルダと、その下に年月名のフォルダを自動的に作成して保存されます。



◆ タスクトレイにアイコンの表示がないときは

- ① 本ソフトを起動し、「設定」ボタンで“自動転送を行う”にチェックが付いているか確認します。
「ソフトの起動」(7 ページ) および「設定」(31 ページ) を参照してください。
- ② 【基本画面】のディスプレイに USB マークを表示していることを確認します。



- ③ [ー] (最小化) ボタンまたは、タスクバーの [Voice Player VPS179] をクリックして、本ソフトを最小化します。

STOP お願い

- 本ソフトの【基本画面】の最小化を行うときは[ー] (最小化) ボタンで行ってください。
キーボード操作 (Windows キー+↓など) で最小化した場合、USB データ転送の自動転送機能が使用できません。

👉 ワンポイント

- 本ソフトを終了したときやパソコンをシャットダウンしたときやスリープ状態にしたときは自動転送は行いません。この間の通話録音データは、次に本ソフトが起動したときに自動転送されます。

● 自動転送中に再生などの操作を行うと

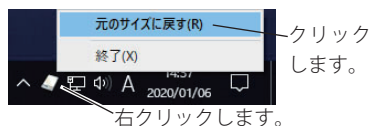
音声ファイルの再生やファイルの操作などで、【基本画面】を開いているときは自動転送機能は中断されます。操作終了後、ソフトを最小化すると自動転送機能を再開します。

- ① 自動転送機能が動作中は、タスクトレイのアイコンをマウスポインタでポイントすると“自動転送中”と表示します。



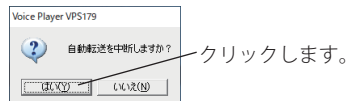
マウスポインタでポイントします。

- ② アイコンを右クリックして [元のサイズに戻す] をクリックします。



右クリックします。

※ “自動転送を中断しますか？” の確認画面が表示されます。



クリックします。

- ③ [はい] ボタンをクリックすると【基本画面】が表示されます。
- ④ 保存用フォルダを選択してデータを表示します。



自動転送は中断中です。

自動転送中断中の案内を表示します。

再生などの操作は、本取扱説明書の該当ページを参照してください。

- ⑤ 操作が終了したら [ー] (最小化) ボタンまたは、タスクバーの [Voice Player VPS179] をクリックして、本ソフトを最小化します。

👉 ワンポイント

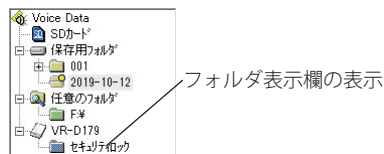
- 自動転送機能が動作中は、画面を開いた状態で、約 10 分間マウス操作を行わないと、本ソフトは自動的に最小化してデータの自動転送機能を再開します。

■ セキュリティロックについて

パソコンに接続した本体装置にセキュリティロックが設定されているときは、本体装置の暗証番号と本ソフトの「装置名の登録」(33 ページ) で登録したその装置の暗証番号が一致しないとセキュリティロックが働きます。

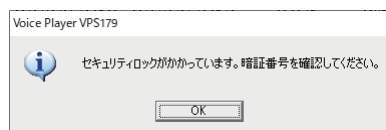
この場合は次の表示となり、本体装置 SD カードの音声ファイルを表示することができません。

暗証番号を確認して登録し直してください。

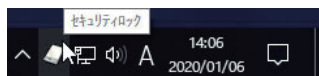


本体装置をクリックすると以下のメッセージが表示されます。

【セキュリティロックがかかっているときの案内】



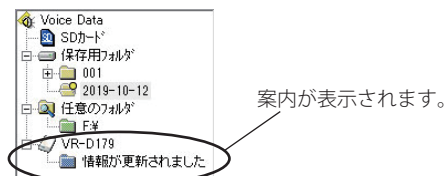
セキュリティロックが動作中は、タスクトレイのアイコンをマウスポインタでポイントすると「セキュリティロック」と表示します。



本体装置のセキュリティロックについては、VR-D179/VR-D179A 取扱説明書「操作編 通話の再生とファイルの操作をする 再生とファイルの操作を禁止する」を参照してください。

USB 接続中の VR-D179 フォルダについて

本ソフトと本体装置が USB 接続中のフォルダ表示欄には、本体装置の状態に変化があると VR-D179 のフォルダ名に次のような案内を表示します。



● 「情報が更新されました」

- ・新しい通話録音や再生などの操作がありました。「最新の情報に更新」をクリックして状態を確認してください。

新しい通話録音があったときは、手動転送の場合は「USB データ転送」を行ってください。また自動転送の場合は、本ソフトを一旦最小化してください。新しく追加されたデータが転送されます。

● 「情報が取得できません」

- ・SD カードのライトプロテクトがロックされています。確認してください。

※「最新の情報に更新」をクリックしたときなどに表示されます。

● 「SD カードがありません」

- ・本体装置に SD カードが取り外されたか、セットされていません。確認してください。

※「最新の情報に更新」をクリックしたときなどに表示されます。

● 「本体操作中」

- ・本体装置で録音・再生・登録などの操作が行われています。

※「最新の情報に更新」をクリックしたときなどに表示されます。

● 「セキュリティロック」

- ・接続した本体装置の暗証番号と、登録されている暗証番号が一致していません。確認してください。

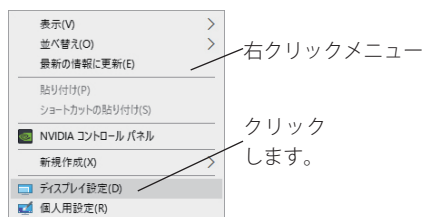
補足資料

ディスプレイの確認

本ソフトをインストールするパソコン において、ディスプレイのサイズや解像度を以下の手順により確認してください。

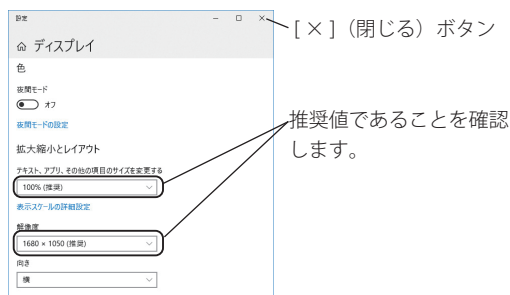
(Windows 10 の操作例)

- ① デスクトップ画面の任意の箇所を右クリックして表示される右クリックメニューから「ディスプレイ設定」をクリックします。



・ディスプレイのカスタマイズ画面が表示されます。

- ② [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する]および[解像度]が、推奨値であることを確認します。



※ Windows 11 の場合は、[拡大/縮小]および[ディスプレイの解像度]を確認します。

・推奨値でない場合は、推奨値に変更してください。

- ③ [×] (閉じる) ボタンをクリックして、画面を閉じてください。

日付・時刻の確認

ご使用のパソコンの年月日・時刻の形式で、カレンダーの種類が「西暦」であることを確認してください。

- ① 小さいタスクバーボタンを使用している場合は、タスクバーの時刻にカーソルをのせます。



・年月日が表示されます。

ワンポイント

- カレンダーの種類が「和暦」の場合、本ソフトが正常に動作しません。

■ 年月日が「和暦」で表示されている場合

カレンダーの種類が「和暦」で表示されている場合は、以下の手順で「西暦」に変更してください。

(Windows 10 の操作例)

- ① タスクバーの時刻を右クリックして表示される右クリックメニューで、「日付と時刻の調整」をクリックします。



右クリックします。

※ Windows 11 の場合は、「日時を調整する」をクリックします。

・【設定】画面が表示されます。

- ② [別のタイムゾーンの時計を追加する] をクリックします。

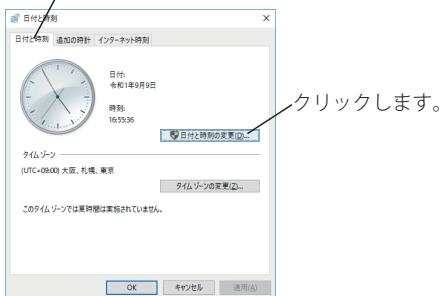
※ Windows 11 の場合は、[その他の時計] をクリックします。



- ・ [日付と時刻] 画面が表示されます。

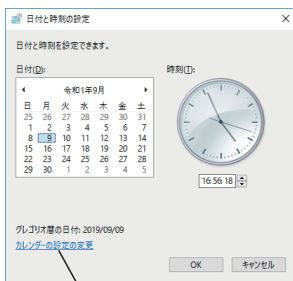
- ③ [日付と時刻] タブをクリックして [日付と時刻の変更] ボタンをクリックします。

クリックします。



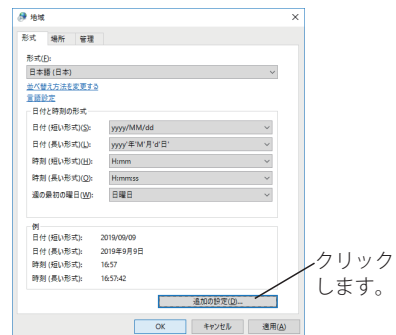
- ・ [日付と時刻の設定] 画面が表示されます。

- ④ [カレンダーの設定の変更] をクリックします。



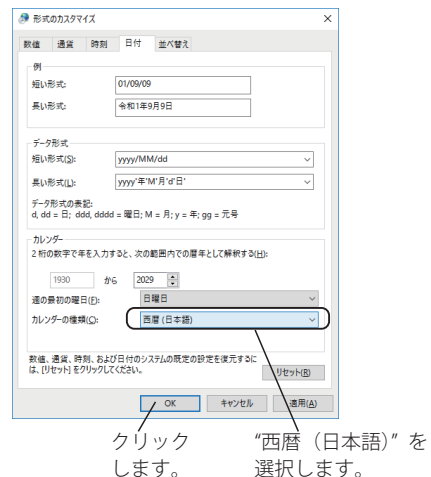
- ・ [地域] 画面が表示されます。

- ⑤ [追加の設定] ボタンをクリックします。



- ・ 【形式のカスタマイズ】画面が表示されます。

- ⑥ [日付] タブをクリックして、「カレンダーの種類」を「西暦（日本語）」で選択して、[OK] ボタンをクリックします。



- ⑦ 各種の画面で [OK] ボタンをクリックします。

故障とお考えになる前に

こんなときは	お確かめください	参照ページ
アプリケーションが動作しない。	パソコンの動作環境は合っていますか？ OS やメモリー容量などを確認してください。	2
「このアプリケーションはすでに起動しています。」と表示されて、基本画面が表示されない。	画面右下のタスクバーに最小化されていませんか？ タスクバーの最小化された VPS179 のアイコンをダブルクリックして元のサイズに戻してください。 タスクバーに見当たらない場合は、『△』をクリックし隠れたインジケータを表示して、VPS179 のアイコンをお探しください。	9
「ファイルが存在しないか、開くことができませんでした。」と表示されて、フォルダ表示欄が更新されない。	対象のメディアの情報を最新の情報にしていますか？ 表示リストの再構築を行ってください。	21
フォルダ表示欄に、SD カードのフォルダや USB 接続した VR-D179/VR-D179A のフォルダが表示されない。	カードリーダーは SD カードに対応していますか？ SD カードに対応したカードリーダーを使用してください。 SD カードや本体装置を接続したあとで、フォルダ表示欄の表示を更新していますか？ [最新の情報に更新] ボタンをクリックしてください。	3 10,11,38
ファイル表示欄のファイル再生などができない。	USB 接続した VR-D179/VR-D179A の SD カードデータは操作できません。パソコンに保存してから操作してください。	36
「オーディオデバイスが見つかりません。(2)」と表示されて、ファイル再生ができない。	再生デバイス（スピーカ、イヤホン等）が接続されていますか？ スピーカまたはイヤホンの接続をご確認ください。	26
本体装置と USB 接続できない。	VR-D179 シリーズの USB ドライバが正しくインストールされていますか？ VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズが複数台接続されていませんか？ USB ケーブルを一度パソコンから抜いて、5 秒以上後に接続し直してください。 VR-D179 シリーズや VR-D175 シリーズ本体の電源入れ直しと、「VPS179」の再起動を行ってください。	4 2,36 ※ 1 ※ 1
ファイルの保存やデータ転送ができない。	「VPS179/VPS175/VPS170」が同時に起動されていませんか？	7
WAVE 形式に変換できない。	ファイルのコピー操作はしていますか？ 「Wave に変換して貼り付け」の操作の前に、対象ファイルの「コピー」の操作をしてください。 SD カード内にファイルを保存しようとしていませんか？ SD カード内に Wave 変換したファイルは保存できません。 VPS179 のファイル操作により保存用フォルダか任意のフォルダを指定して、「Wave に変換して貼り付け」をしてください。	24
SD カードのフォルダ名に「アクセスできません」と表示される。	SD カードの書き込み防止スイッチがロックされていませんか？	11
SD カードデータが、「(000)000000-000000」と表示される。	パソコンから SD カードに対しての書き込みが制限がされていませんか？	11
SD カードが認識されない。	本体装置で録音中に、停電などにより電源断しませんでしたか？	11
SD カード内のファイルが再生できない。	本ソフト以外のツール（エクスプローラーなど）で、パソコンに直接コピーされたファイルではありませんか？ VPS179 のファイル操作により SD カード内のファイルを再生してください。	21 26

※ 1：VR-D179 シリーズ /VR-D175 シリーズ取扱説明書「電源の接続」を参照してください。

使い方・取付け方などのご相談

● お電話から お客様相談センター

 **0570-03-8811**

受付時間：月～金 9：00～17：30
(土・日曜日、祝日、当社指定休日除く)

● ホームページから

「よくあるご質問」をご覧ください。
「お問い合わせ」のフォームよりご相談ください。

<https://www.takacom.co.jp>

タカコム よくあるご質問

検索

修理に関するご相談

お買い上げの販売店様または
当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社へのお問い合わせ先はホームページ「修理センター」をご覧ください。

<https://www.takacom.co.jp>

タカコム 修理センター

検索

株式会社 **タカコム**

本社・工場／〒509-5202 岐阜県土岐市下石町西山 304-709